

3. 岩手県

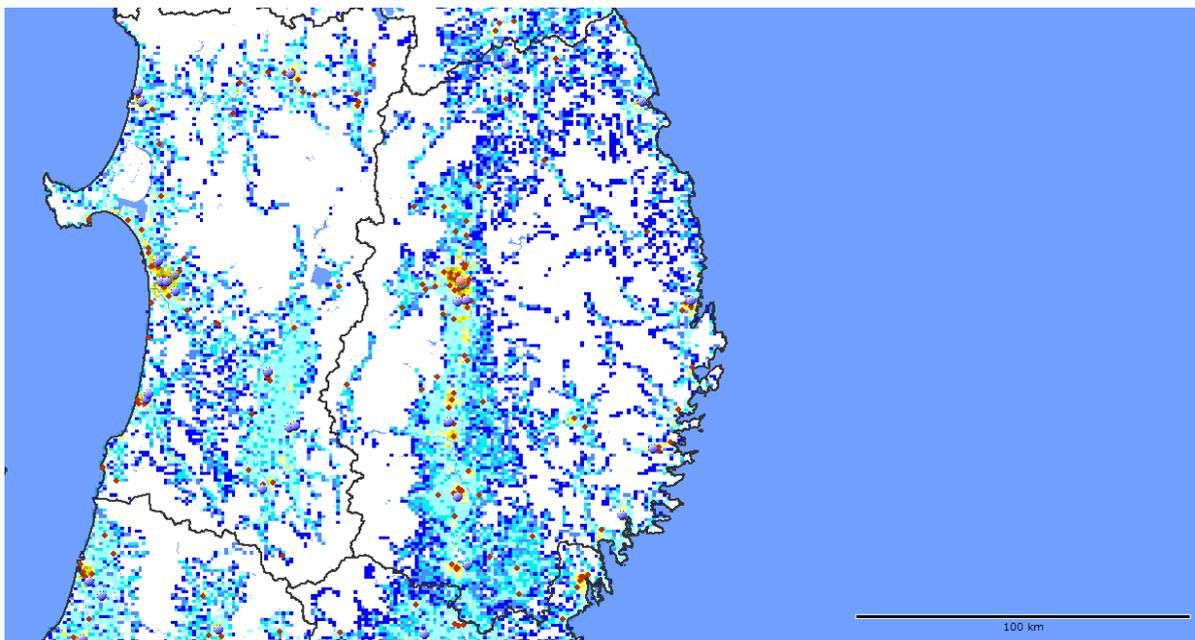


目次

岩手県	3	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	3	-	8
1. 盛岡医療圏	3	-	26
2. 岩手中部医療圏	3	-	31
3. 胆江医療圏	3	-	36
4. 両磐医療圏	3	-	41
5. 気仙医療圏	3	-	46
6. 釜石医療圏	3	-	51
7. 宮古医療圏	3	-	56
8. 久慈医療圏	3	-	61
9. 二戸医療圏	3	-	66

3. 岩手県

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(岩手県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 岩手県は、総人口約1,280千人(2015年)、面積15,275km²、人口密度は84人/km²である。

***人口の将来予測：** 岩手県の総人口は2025年に1,162千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に958千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の208千人が、2025年にかけて236千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には244千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 岩手県の一人当たり医療費(国保)は360千円(偏差値53)、介護給付費は277千円(偏差値57)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 岩手県の一人当たり急性期医療密度指数は1.29、一人当たり慢性期医療密度指数は0.88で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が45(病院医師数46、診療所医師数42)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 岩手県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、19,744人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が14,589床(偏差値57)、高齢者住宅等が5,155床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、17,280人(75歳以上1,000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム38、軽費ホーム56、グループホーム48、サ高住43である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、2,401人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-7%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

2. 推移

【人口と医療需要】

岩手県の総人口は、2005年1,385,041人が、2015年に1,279,594人と8%減少し、2025年の人口が1,161,638人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

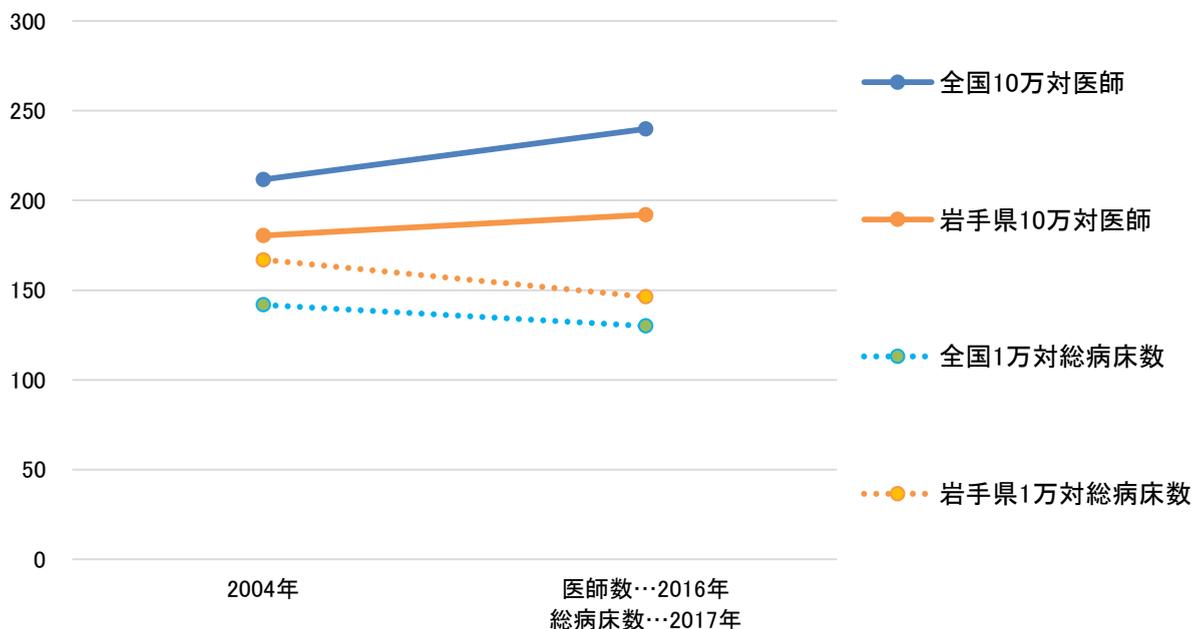
2004年の病院数が108(人口10万人当たり7.8病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2017年に93(人口10万人当たり7.3病院(全国平均6.6)偏差値51)となり、13年間で15病院が減少した。

2004年の診療所数が914(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2017年に874(人口10万人当たり68診療所(全国平均80)偏差値44)と、40診療所が減少した。

2004年の総病床数が23,126床(人口1万人当たり167(全国平均142)偏差値54)であったが、2017年に18,722床(人口1万人当たり146(全国平均130)偏差値53)と、4,404床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,499人(人口10万人当たり180人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2016年に2,458人(人口10万人当たり192人(全国平均240人)偏差値45)と、41人の減少、率にして2%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

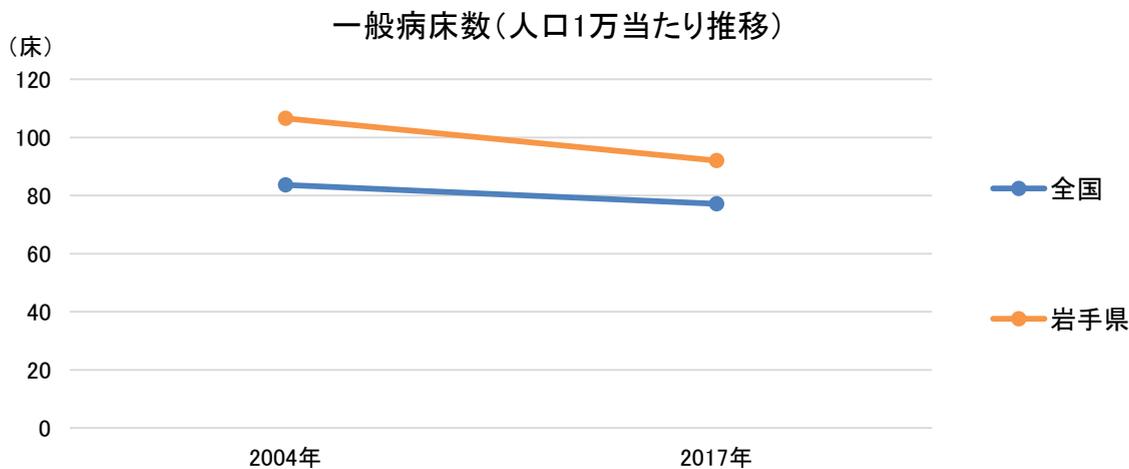
人口当たり医師数・総病床数の推移



3.岩手県(2018年版)

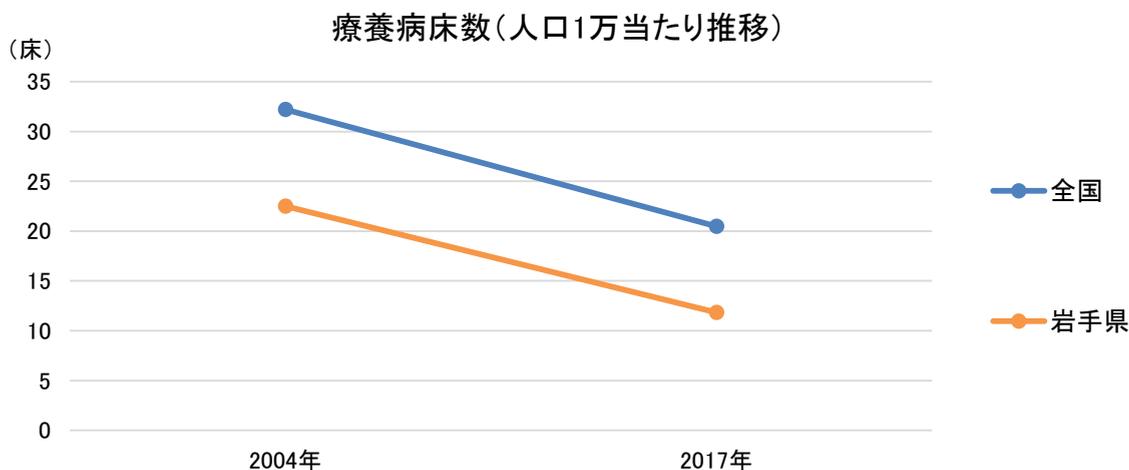
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が14,758床(人口1万人当たり107(全国平均84)偏差値58)であったが、2017年に11,769床(人口1万人当たり92(全国平均77)偏差値56)と、2,989床の減少、率にして20%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



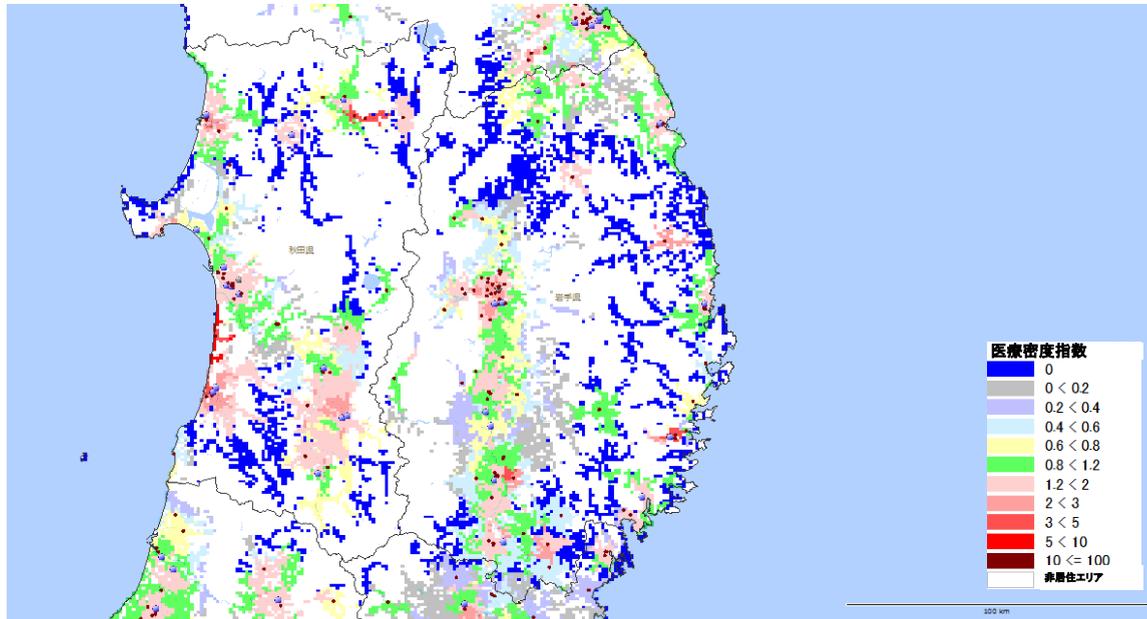
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3,622床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均32)偏差値44)であったが、2017年に2,462床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均20)偏差値42)と、1160床の減少、率にして32%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



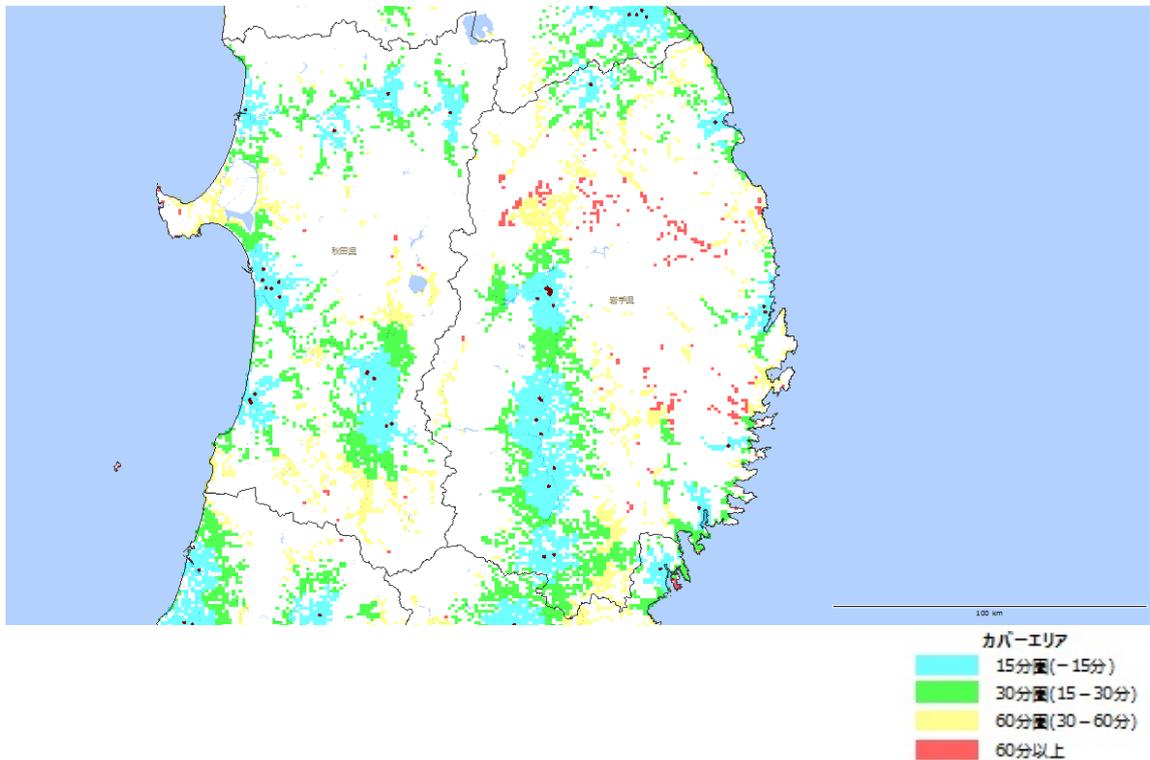
(岩手県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表3-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 3-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
岩手県	1,280	32位	15,275	2位	83.8		30%	1,162	958	208	236	244	-9%	-18%	13%	3%
盛岡	477	37%	3,642	24%	130.9	地方都市型	26%	453	396	63	80	90	-5%	-13%	27%	13%
岩手中部	225	18%	2,763	18%	81.5	地方都市型	30%	207	175	37	41	42	-8%	-15%	11%	2%
胆江	135	11%	1,173	8%	115.4	過疎地域型	32%	121	98	24	26	26	-10%	-19%	8%	0%
両磐	129	10%	1,320	9%	98.1	過疎地域型	33%	114	91	25	26	27	-12%	-20%	4%	4%
気仙	64	5%	889	6%	71.4	過疎地域型	36%	54	40	12	14	13	-16%	-26%	17%	-7%
釜石	49	4%	641	4%	75.8	過疎地域型	35%	41	30	9	10	8	-16%	-27%	11%	-20%
宮古	86	7%	2,671	17%	32.1	過疎地域型	35%	73	54	16	17	15	-15%	-26%	6%	-12%
久慈	59	5%	1,077	7%	55.0	過疎地域型	32%	52	40	10	11	12	-12%	-23%	10%	9%
二戸	56	4%	1,100	7%	50.6	過疎地域型	35%	46	33	11	11	10	-18%	-28%	0%	-9%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月

資_図表 3-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	-19.3%
岩手県	1.29	0.88	17,866	19,065	-6.7%
盛岡	1.83	1.19	5,781	6,462	-11.8%
岩手中部	0.86	0.49	3,122	3,269	-4.7%
胆江	1.08	1.07	1,770	2,061	-16.4%
両磐	1.07	0.54	2,248	2,039	9.3%
気仙	1.03	0.23	958	1,138	-18.8%
釜石	1.73	0.75	785	817	-4.1%
宮古	0.86	1.04	1,195	1,443	-20.8%
久慈	0.58	0.41	996	902	9.4%
二戸	0.94	0.39	1,011	934	7.6%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375))
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 3-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
岩手県	360	53	0.988	141	53	1.010	194	53	0.977	277	57
盛岡	372	56	1.024	143	53	1.021	202	58	1.021	280	58
岩手中部	351	51	0.932	132	49	0.906	195	54	0.952	279	58
胆江	333	47	0.893	121	46	0.839	187	49	0.920	249	49
両磐	334	47	0.895	131	49	0.907	181	46	0.897	286	60
気仙	385	59	1.028	153	56	1.054	207	61	1.020	276	57
釜石	442	72	1.153	192	69	1.292	223	70	1.072	266	54
宮古	382	58	1.029	163	60	1.129	199	56	0.985	286	60
久慈	329	46	0.948	140	52	1.046	169	39	0.900	269	55
二戸	333	47	0.920	137	51	0.973	177	43	0.899	304	65
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 3-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000
岩手県	743	35	0.803	343	38	0.736	375	37	0.877
盛岡	845	44	0.910	398	44	0.858	416	47	0.964
岩手中部	705	32	0.762	300	34	0.643	380	38	0.891
胆江	750	36	0.807	355	39	0.759	367	35	0.855
両磐	665	29	0.714	299	34	0.632	345	29	0.810
気仙	661	29	0.714	288	33	0.618	351	30	0.822
釜石	790	39	0.852	387	43	0.838	380	38	0.879
宮古	732	34	0.793	367	41	0.795	347	29	0.810
久慈	627	26	0.677	298	34	0.641	313	21	0.730
二戸	636	26	0.683	279	32	0.594	342	28	0.797
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

3.岩手県(2018年版)

資_図表 3-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
岩手県	93	1.1%	7.3	51	874	0.9%	68	44
盛岡	39	42%	8.2	53	361	41%	76	48
岩手中部	13	14%	5.8	48	153	18%	68	44
胆江	9	10%	6.7	50	102	12%	75	48
両磐	10	11%	7.7	52	84	10%	65	42
気仙	3	3%	4.7	46	37	4%	58	39
釜石	6	6%	12.4	63	26	3%	54	36
宮古	6	6%	7.0	51	46	5%	54	36
久慈	4	4%	6.7	50	32	4%	54	36
二戸	3	3%	5.4	47	33	4%	59	39
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 3-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	101,471		80	(18.9)	94,269		74	(18.7)	7,202		5.7	(6.0)
岩手県	874	0.9%	68	44	769	0.8%	60	42	105	1.5%	8.2	54
盛岡	361	41%	76	48	317	41%	66	46	44	42%	9.2	56
岩手中部	153	18%	68	44	136	18%	60	43	17	16%	7.6	53
胆江	102	12%	75	48	90	12%	67	46	12	11%	8.9	55
両磐	84	10%	65	42	76	10%	59	42	8	8%	6.2	51
気仙	37	4%	58	39	33	4%	52	38	4	4%	6.3	51
釜石	26	3%	54	36	24	3%	49	37	2	2%	4.1	47
宮古	46	5%	54	36	39	5%	45	35	7	7%	8.2	54
久慈	32	4%	54	36	28	4%	47	36	4	4%	6.7	52
二戸	33	4%	59	39	26	3%	47	35	7	7%	12.6	62
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 3-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,554,879		1,223	(481)	98,355		77	(94)	1,653,234		1,301	(537)
岩手県	17,304	1.1%	1,352	53	1,418	1.4%	111	54	18,722	1.1%	1,463	53
盛岡	7,477	43%	1,568	57	547	39%	115	54	8,024	43%	1,683	57
岩手中部	2,427	14%	1,078	47	230	16%	102	53	2,657	14%	1,180	48
胆江	1,611	9%	1,191	49	194	14%	143	57	1,805	10%	1,334	51
両磐	1,556	9%	1,202	50	107	8%	83	51	1,663	9%	1,285	50
気仙	683	4%	1,075	47	76	5%	120	54	759	4%	1,195	48
釜石	979	6%	2,016	66	21	1%	43	46	1,000	5%	2,059	64
宮古	1,215	7%	1,416	54	85	6%	99	52	1,300	7%	1,515	54
久慈	670	4%	1,130	48	55	4%	93	52	725	4%	1,223	49
二戸	686	4%	1,231	50	103	7%	185	61	789	4%	1,416	52
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 3-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	890,865		701	(223)	325,228		256	(203)	331,700		261	(210)
岩手県	10,499	1.2%	820	55	2,314	0.7%	181	46	4,337	1.3%	339	54
盛岡	4,480	43%	940	61	1,340	58%	281	51	1,637	38%	343	54
岩手中部	1,654	16%	735	52	95	4%	42	39	632	15%	281	51
胆江	977	9%	722	51	332	14%	245	49	274	6%	202	47
両磐	1,100	10%	850	57	60	3%	46	40	382	9%	295	52
気仙	411	4%	647	48	60	3%	94	42	198	5%	312	52
釜石	673	6%	1,386	81	102	4%	210	48	204	5%	420	58
宮古	478	5%	557	44	148	6%	172	46	575	13%	670	69
久慈	371	4%	626	47	85	4%	143	44	210	5%	354	54
二戸	355	3%	637	47	92	4%	165	46	225	5%	404	57
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

3.岩手県(2018年版)

資_図表 3-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期リハビリ病棟病床数				地域包括ケア病棟病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	73,895		58	(63)
岩手県	676	0.8%	53	48	613	0.8%	48	48
盛岡	476	70%	100	58	280	46%	59	50
岩手中部	44	7%	20	41	40	7%	18	44
胆江	0	0%	0	36	52	8%	38	47
両磐	35	5%	27	42	135	22%	104	57
気仙	0	0%	0	36	0	0%	0	41
釜石	0	0%	0	36	0	0%	0	41
宮古	78	12%	91	56	36	6%	42	47
久慈	43	6%	73	52	58	9%	98	56
二戸	0	0%	0	36	12	2%	22	44
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資_図表 3-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
岩手県	7,449	6,255	153	9,542	4,090	2,158	60.5%	56	6.6%	51
盛岡	1,831	1,715	18	5,591	2,749	1,319	38.4%	48	1.3%	48
岩手中部	1,171	1,001	0	1,021	511	95	66.2%	58	0.0%	48
胆江	680	652	0	923	317	332	67.3%	59	0.0%	48
両磐	1,170	797	0	363	303	60	72.5%	61	0.0%	48
気仙	549	430	0	153	0	60	100.0%	71	0.0%	48
釜石	502	502	0	477	171	102	74.6%	61	0.0%	48
宮古	485	471	0	723	0	148	100.0%	71	0.0%	48
久慈	375	332	43	291	39	42	89.5%	67	50.6%	70
二戸	686	355	92	0	0	0	100.0%	71	100.0%	92
出典	地方厚生局指定一覧平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 3-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
岩手県	19,164	0.5%	1,498	44	9,768	1.1%	763	51
盛岡	11,964	62%	2,509	48	3,972	41%	833	54
岩手中部	3,096	16%	1,375	43	1,992	20%	885	56
胆江	1,356	7%	1,002	42	624	6%	461	40
両磐	1,092	6%	844	41	1,008	10%	779	52
気仙	504	3%	793	41	540	6%	850	55
釜石	492	3%	1,013	42	252	3%	519	42
宮古	120	1%	140	38	660	7%	769	52
久慈	312	2%	526	40	180	2%	304	34
二戸	228	1%	409	39	540	6%	969	59
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 3-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
岩手県	2,458	0.8%	192	45	1,656	0.8%	129	46	802	0.8%	63	42
盛岡	1,305	53%	274	54	954	58%	200	56	351	44%	74	47
岩手中部	324	13%	144	39	182	11%	81	39	142	18%	63	42
胆江	211	9%	156	41	122	7%	90	40	89	11%	66	44
両磐	204	8%	158	41	129	8%	100	42	75	9%	58	40
気仙	94	4%	148	40	61	4%	96	41	33	4%	52	38
釜石	70	3%	144	39	45	3%	93	41	25	3%	51	38
宮古	93	4%	108	35	53	3%	62	36	40	5%	47	35
久慈	81	3%	137	38	59	4%	100	42	22	3%	37	31
二戸	76	3%	136	38	51	3%	92	41	25	3%	45	35
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

3.岩手県(2018年版)

資_図表 3-13 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
岩手県	114	0.5%	8.9	40	103	0.8%	8.0	44	99	0.9%	7.7	47
盛岡	65	57%	13.6	46	63	61%	13.2	55	57	58%	12.0	58
岩手中部	19	17%	8.4	40	13	13%	5.8	40	9	9%	4.0	38
胆江	7	6%	5.2	36	5	5%	3.7	35	9	9%	6.7	45
両磐	13	11%	10.0	42	6	6%	4.6	37	11	11%	8.5	49
気仙	1	1%	1.6	32	5	5%	7.9	44	3	3%	4.7	40
釜石	1	1%	2.1	33	4	4%	8.2	45	1	1%	2.1	33
宮古	2	2%	2.3	33	4	4%	4.7	37	3	3%	3.5	37
久慈	3	3%	5.1	36	1	1%	1.7	31	1	1%	1.7	32
二戸	3	3%	5.4	37	2	2%	3.6	35	5	5%	9.0	50
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 3-14 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
岩手県	49	0.9%	3.8	47	75	0.8%	5.9	44	54	0.7%	4.2	43
盛岡	28	57%	5.9	57	44	59%	9.2	55	31	57%	6.5	52
岩手中部	9	18%	4.0	48	12	16%	5.3	43	6	11%	2.7	37
胆江	4	8%	3.0	43	6	8%	4.4	40	7	13%	5.2	47
両磐	3	6%	2.3	40	3	4%	2.3	33	4	7%	3.1	39
気仙	2	4%	3.1	44	2	3%	3.1	36	1	2%	1.6	33
釜石	0	0%	0	30	2	3%	4.1	39	1	2%	2.1	35
宮古	0	0%	0	30	3	4%	3.5	37	1	2%	1.2	32
久慈	2	4%	3.4	45	0	0%	0	26	1	2%	1.7	33
二戸	1	2%	1.8	38	3	4%	5.4	43	2	4%	3.6	41
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 3-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
岩手県	72	0.8%	5.6	45	174	0.8%	13.6	46	120	0.7%	9.4	42
盛岡	30	42%	6.3	47	96	55%	20.1	55	66	55%	13.8	52
岩手中部	7	10%	3.1	38	20	11%	8.9	39	18	15%	8.0	39
胆江	6	8%	4.4	42	20	11%	14.8	47	13	11%	9.6	43
両磐	8	11%	6.2	47	10	6%	7.7	37	8	7%	6.2	35
気仙	2	3%	3.1	38	7	4%	11.0	42	4	3%	6.3	36
釜石	4	6%	8.2	53	4	2%	8.2	38	4	3%	8.2	40
宮古	6	8%	7.0	49	5	3%	5.8	35	4	3%	4.7	32
久慈	6	8%	10.1	58	7	4%	11.8	43	1	1%	1.7	26
二戸	3	4%	5.4	45	5	3%	9.0	39	2	2%	3.6	30
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 3-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
岩手県	65	1.1%	5.1	52	70	1.0%	5.5	51	40	0.7%	3.1	46
盛岡	35	54%	7.3	62	37	53%	7.8	60	27	68%	5.7	54
岩手中部	8	12%	3.6	44	9	13%	4.0	44	3	8%	1.3	40
胆江	7	11%	5.2	52	6	9%	4.4	46	2	5%	1.5	40
両磐	7	11%	5.4	53	5	7%	3.9	44	3	8%	2.3	43
気仙	2	3%	3.1	43	3	4%	4.7	47	0	0%	0	35
釜石	0	0%	0	28	3	4%	6.2	54	1	3%	2.1	42
宮古	3	5%	3.5	44	1	1%	1.2	32	2	5%	2.3	43
久慈	2	3%	3.4	44	2	3%	3.4	42	0	0%	0	35
二戸	1	2%	1.8	36	4	6%	7.2	58	2	5%	3.6	47
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

3.岩手県(2018年版)

資_図表 3-17 専門医数(麻醉科、病理、救急科)

二次医療圏	麻醉科				病理 専門医数				救急科 専門医数			
	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
岩手県	47	0.7%	3.7	44	9	0.6%	0.7	44	39	1.0%	3.0	50
盛岡	33	70%	6.9	54	9	100%	1.9	56	28	72%	5.9	65
岩手中部	4	9%	1.8	38	0	0%	0	37	2	5%	0.9	39
胆江	5	11%	3.7	44	0	0%	0	37	2	5%	1.5	42
両磐	3	6%	2.3	40	0	0%	0	37	4	10%	3.1	51
気仙	0	0%	0	33	0	0%	0	37	2	5%	3.1	51
釜石	1	2%	2.1	39	0	0%	0	37	1	3%	2.1	45
宮古	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	34
久慈	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	34
二戸	1	2%	1.8	38	0	0%	0	37	0	0%	0	34
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 3-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテ- ーション科 専門医数			
	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
岩手県	20	0.9%	1.6	49	19	0.8%	1.5	46
盛岡	15	75%	3.1	62	15	79%	3.1	58
岩手中部	1	5%	0.4	40	3	16%	1.3	45
胆江	1	5%	0.7	42	0	0%	0	36
両磐	1	5%	0.8	43	0	0%	0	36
気仙	0	0%	0	37	0	0%	0	36
釜石	0	0%	0	37	0	0%	0	36
宮古	1	5%	1.2	46	1	5%	1.2	44
久慈	1	5%	1.7	50	0	0%	0	36
二戸	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 3-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
岩手県	12,295	1.1%	961	52	9,695	1.1%	758	51	2,600	1.2%	203	54
盛岡	5,671	46%	1,189	60	4,585	47%	962	60	1,086	42%	228	57
岩手中部	1,666	14%	740	44	1,219	13%	541	42	448	17%	199	53
胆江	1,210	10%	894	50	895	9%	662	47	315	12%	232	58
両磐	1,149	9%	887	50	923	10%	713	50	225	9%	174	49
気仙	480	4%	755	45	346	4%	544	43	134	5%	211	55
釜石	523	4%	1,076	56	458	5%	943	59	65	2%	133	44
宮古	662	5%	772	45	519	5%	605	45	143	5%	166	48
久慈	480	4%	810	47	396	4%	668	48	84	3%	141	45
二戸	454	4%	815	47	353	4%	634	46	101	4%	181	51
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 3-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
岩手県	1,175	0.8%	92	47	2,303	0.8%	180	44
盛岡	701	60%	147	57	1,095	48%	230	49
岩手中部	140	12%	62	42	392	17%	174	44
胆江	79	7%	58	41	201	9%	149	41
両磐	81	7%	63	42	198	9%	153	41
気仙	17	1%	27	35	93	4%	146	41
釜石	35	3%	72	43	81	4%	167	43
宮古	76	6%	88	46	102	4%	119	38
久慈	28	2%	47	39	47	2%	79	34
二戸	18	2%	32	36	94	4%	169	43
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

3.岩手県(2018年版)

資_図表 3-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
岩手県	70	0.5%	0.3	38	12	0.9%	0.1	46	105	1.0%	0.5	42
盛岡	34	49%	0.5	42	7	58%	0.1	54	48	46%	0.8	54
岩手中部	19	27%	0.5	42	0	0%	0	38	16	15%	0.4	39
胆江	3	4%	0.1	33	0	0%	0	38	12	11%	0.5	42
両磐	5	7%	0.2	35	4	33%	0.2	61	10	10%	0.4	38
気仙	2	3%	0.2	34	0	0%	0	38	4	4%	0.3	34
釜石	3	4%	0.3	38	1	8%	0.1	53	4	4%	0.4	39
宮古	3	4%	0.2	34	0	0%	0	38	8	8%	0.5	42
久慈	1	1%	0.1	32	0	0%	0	38	1	1%	0.1	23
二戸	0	0%	0	30	0	0%	0	38	2	2%	0.2	27
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成30年6月			

資_図表 3-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
岩手県	19,744	1.2%	95	45	14,589	1.5%	70	57	5,155	0.7%	25	39
盛岡	6,778	34%	108	52	4,615	32%	73	60	2,163	42%	34	45
岩手中部	3,380	17%	91	42	2,488	17%	67	55	892	17%	24	38
胆江	2,009	10%	83	38	1,510	10%	62	51	499	10%	21	36
両磐	2,527	13%	103	49	1,720	12%	70	57	807	16%	33	44
気仙	978	5%	79	35	868	6%	70	57	110	2%	9	28
釜石	785	4%	85	39	668	5%	72	59	117	2%	13	31
宮古	1,215	6%	75	33	978	7%	61	49	237	5%	15	32
久慈	1,061	5%	101	48	880	6%	84	68	181	4%	17	34
二戸	1,011	5%	90	42	862	6%	77	62	149	3%	13	31
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 3-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
岩手県	6,069	1.7%	29	61	8,228	1.4%	39	54	292	0.5%	1.4	44
盛岡	2,082	34%	33	68	2,272	28%	36	51	261	89%	4.1	51
岩手中部	1,101	18%	30	62	1,387	17%	37	52	0	0%	0	41
胆江	517	9%	21	48	993	12%	41	56	0	0%	0	41
両磐	672	11%	27	58	1,036	13%	42	57	12	4%	0.5	42
気仙	342	6%	28	59	526	6%	42	57	0	0%	0	41
釜石	288	5%	31	65	380	5%	41	56	0	0%	0	41
宮古	361	6%	22	50	617	7%	38	53	0	0%	0	41
久慈	406	7%	39	78	455	6%	43	58	19	7%	1.8	45
二戸	300	5%	27	57	562	7%	50	65	0	0%	0	41
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 3-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
岩手県	304	0.1%	1.5	38	565	2.4%	2.7	56	2,330	1.2%	11.2	48
盛岡	177	58%	2.8	39	269	48%	4.3	63	660	28%	10.5	47
岩手中部	9	3%	0.2	37	130	23%	3.5	60	495	21%	13.4	52
胆江	0	0%	0	37	0	0%	0	43	242	10%	10.0	46
両磐	90	30%	3.7	40	96	17%	3.9	62	342	15%	13.9	53
気仙	0	0%	0	37	0	0%	0	43	90	4%	7.3	41
釜石	0	0%	0	37	0	0%	0	43	117	5%	12.7	51
宮古	21	7%	1.3	38	0	0%	0	43	196	8%	12.2	50
久慈	0	0%	0	37	0	0%	0	43	116	5%	11.1	48
二戸	7	2%	0.6	37	70	12%	6.2	73	72	3%	6.4	40
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 3-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)				サ高住 (非特定 施設)			
					サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	231,875		14.2	(7.0)	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)
岩手県	1,956	0.8%	9.4	43	78	0.4%	0.4	45	1,878	0.9%	9.0	44
盛岡	1,057	54%	16.8	54	60	77%	1.0	48	997	53%	15.8	54
岩手中部	258	13%	7.0	40	0	0%	0	43	258	14%	7.0	41
胆江	257	13%	10.6	45	18	23%	0.7	47	239	13%	9.9	46
両磐	279	14%	11.3	46	0	0%	0	43	279	15%	11.3	48
気仙	20	1%	1.6	32	0	0%	0	43	20	1%	1.6	33
釜石	0	0%	0	30	0	0%	0	43	0	0%	0	31
宮古	20	1%	1.2	31	0	0%	0	43	20	1%	1.2	33
久慈	65	3%	6.2	39	0	0%	0	43	65	3%	6.2	40
二戸	0	0%	0	30	0	0%	0	43	0	0%	0	31
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 3-26 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	171,768		10.5	(2.3)	120,155		7.4	(2.0)	51,613		3.2	(1.1)
岩手県	1,894	1.1%	9.1	44	1,447	1.2%	6.9	48	447	0.9%	2.1	41
盛岡	760	40%	12.1	57	541	37%	8.6	56	220	49%	3.5	53
岩手中部	291	15%	7.9	38	215	15%	5.8	42	77	17%	2.1	40
胆江	167	9%	6.9	34	135	9%	5.6	41	32	7%	1.3	33
両磐	236	12%	9.6	46	181	12%	7.3	50	55	12%	2.2	41
気仙	88	5%	7.1	35	76	5%	6.2	44	12	3%	0.9	29
釜石	67	4%	7.2	36	54	4%	5.8	42	13	3%	1.4	34
宮古	111	6%	6.9	34	85	6%	5.3	40	26	6%	1.6	36
久慈	93	5%	8.8	43	89	6%	8.5	56	4	1%	0.4	24
二戸	82	4%	7.3	36	72	5%	6.4	45	9	2%	0.8	28
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 3-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
岩手県	19,681	1.3%	94	52	17,280	1.3%	83	54	2,401	1.1%	11.5	46
盛岡	6,607	34%	105	60	5,530	32%	88	58	1,078	45%	17.1	56
岩手中部	3,556	18%	96	53	3,217	19%	87	57	339	14%	9.2	42
胆江	2,028	10%	84	43	1,793	10%	74	46	234	10%	9.7	43
両磐	2,259	11%	92	49	2,017	12%	82	53	242	10%	9.8	43
気仙	998	5%	81	40	880	5%	71	43	118	5%	9.5	43
釜石	775	4%	84	43	692	4%	75	47	84	3%	9.1	42
宮古	1,533	8%	95	52	1,384	8%	86	56	149	6%	9.2	42
久慈	953	5%	91	49	890	5%	85	55	63	3%	6.0	37
二戸	971	5%	87	45	877	5%	78	49	95	4%	8.5	41
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 3-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
岩手県	6,281	0.5%	30	37	4,419	0.9%	21	42	11,517	0.9%	55	43
盛岡	3,312	53%	53	44	1,990	45%	32	50	4,455	39%	71	48
岩手中部	1,246	20%	34	38	1,015	23%	27	47	1,656	14%	45	39
胆江	327	5%	14	32	385	9%	16	38	1,043	9%	43	38
両磐	428	7%	17	34	422	10%	17	39	1,430	12%	58	44
気仙	112	2%	9	31	123	3%	10	34	662	6%	53	42
釜石	638	10%	69	48	177	4%	19	41	457	4%	50	41
宮古	78	1%	5	30	211	5%	13	36	855	7%	53	42
久慈	68	1%	6	30	22	0%	2	28	362	3%	35	35
二戸	72	1%	6	30	74	2%	7	31	597	5%	53	42
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

3.岩手県(2018年版)

資_図表 3-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
岩手県		1,385,041	1,279,594	-8%	1,161,638	-16%	4%	-1%	3%
盛岡	地方都市型	489,492	476,758	-3%	452,639	-8%	11%	5%	16%
岩手中部	地方都市型	238,126	225,155	-5%	207,250	-13%	5%	-1%	5%
胆江	過疎地域型	146,567	135,317	-8%	121,261	-17%	3%	-3%	0%
両磐	過疎地域型	144,541	129,451	-10%	114,307	-21%	0%	-3%	-4%
気仙	過疎地域型	74,888	63,536	-15%	54,139	-28%	-4%	-5%	-9%
釜石	過疎地域型	59,503	48,561	-18%	41,242	-31%	-10%	-8%	-17%
宮古	過疎地域型	99,885	85,809	-14%	73,042	-27%	-3%	-7%	-9%
久慈	過疎地域型	67,042	59,279	-12%	51,654	-23%	2%	-3%	-1%
二戸	過疎地域型	64,997	55,728	-14%	46,104	-29%	-3%	-9%	-12%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資_図表 3-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	-665	-7%
岩手県	108	7.8	52	93	7.3	51	-15	-14%
盛岡	45	9.2	55	39	8.2	53	-6	-13%
岩手中部	15	6.3	48	13	5.8	48	-2	-13%
胆江	11	7.5	51	9	6.7	50	-2	-18%
両磐	12	8.3	53	10	7.7	52	-2	-17%
気仙	4	5.3	45	3	4.7	46	-1	-25%
釜石	6	10.1	58	6	12.4	63	0	0%
宮古	7	7.0	50	6	7.0	51	-1	-14%
久慈	4	6.0	47	4	6.7	50	0	0%
二戸	4	6.2	48	3	5.4	47	-1	-25%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 3-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
岩手県	914	66	45	874	68	44	-40	-4%
盛岡	385	79	51	361	76	48	-24	-6%
岩手中部	165	69	47	153	68	44	-12	-7%
胆江	94	64	44	102	75	48	8	9%
両磐	85	59	41	84	65	42	-1	-1%
気仙	44	59	41	37	58	39	-7	-16%
釜石	28	47	36	26	54	36	-2	-7%
宮古	54	54	39	46	54	36	-8	-15%
久慈	29	43	34	32	54	36	3	10%
二戸	30	46	35	33	59	39	3	10%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 3-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
岩手県	2,499	180	46	2,458	192	45	-41	-2%
盛岡	1,296	265	56	1,305	274	54	9	1%
岩手中部	322	135	41	324	144	39	2	1%
胆江	222	151	43	211	156	41	-11	-5%
両磐	205	142	42	204	158	41	-1	0%
気仙	93	124	40	94	148	40	1	1%
釜石	84	141	42	70	144	39	-14	-17%
宮古	123	123	39	93	108	35	-30	-24%
久慈	77	115	38	81	137	38	4	5%
二戸	77	118	39	76	136	38	-1	-1%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2016年>平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

3.岩手県(2018年版)

資_図表 3-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	-159,320	-9%
岩手県	23,126	167	54	18,722	146	53	-4,404	-19%
盛岡	9,755	199	60	8,024	168	57	-1,731	-18%
岩手中部	3,412	143	50	2,657	118	48	-755	-22%
胆江	2,423	165	54	1,805	133	51	-618	-26%
両磐	2,217	153	52	1,663	128	50	-554	-25%
気仙	824	110	44	759	119	48	-65	-8%
釜石	1,216	204	61	1,000	206	64	-216	-18%
宮古	1,660	166	54	1,300	151	54	-360	-22%
久慈	858	128	48	725	122	49	-133	-16%
二戸	761	117	46	789	142	52	28	4%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 3-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	-88,670	-8%
岩手県	14,758	107	58	11,769	92	56	-2,989	-20%
盛岡	5,736	117	62	4,976	104	60	-760	-13%
岩手中部	2,331	98	55	1,841	82	52	-490	-21%
胆江	1,432	98	55	1,147	85	53	-285	-20%
両磐	1,576	109	59	1,199	93	56	-377	-24%
気仙	731	98	55	487	77	50	-244	-33%
釜石	956	161	77	694	143	75	-262	-27%
宮古	869	87	51	557	65	45	-312	-36%
久慈	492	73	46	426	72	48	-66	-13%
二戸	635	98	55	442	79	51	-193	-30%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 3-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

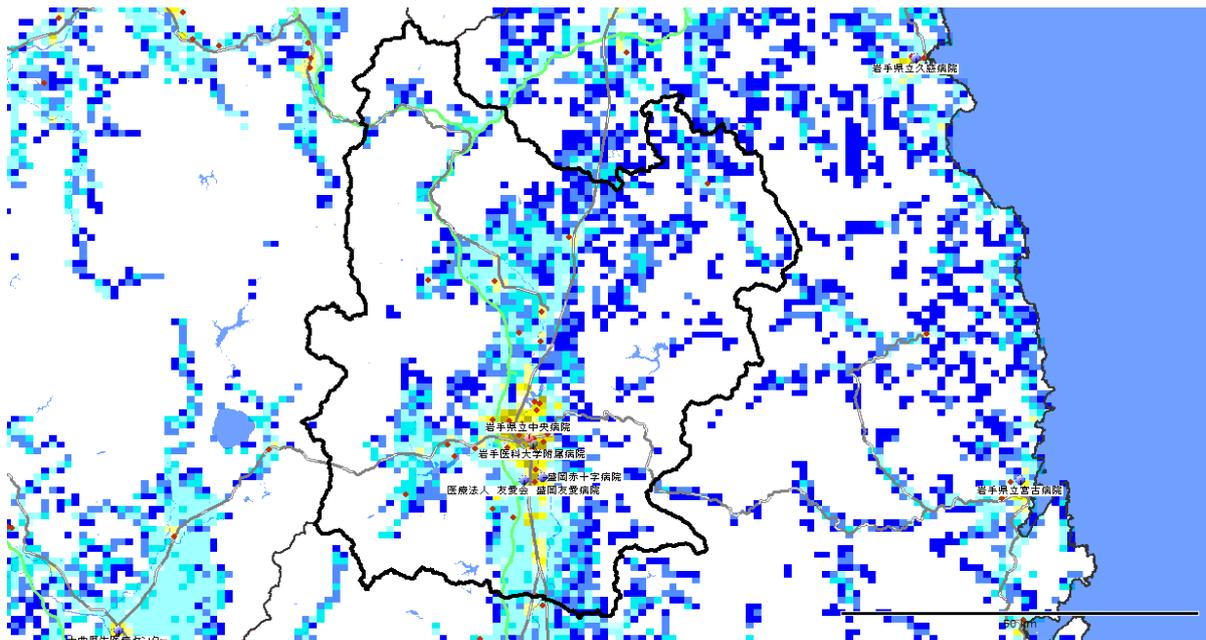
二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	-39,526	-11%
岩手県	3,622	23	44	2,462	12	42	-1,160	-32%
盛岡	2,079	47	58	1,391	22	51	-688	-33%
岩手中部	289	10	37	138	4	35	-151	-52%
胆江	577	31	49	356	15	45	-221	-38%
両磐	233	11	38	68	3	34	-165	-71%
気仙	0	0	32	60	5	36	60	100%
釜石	54	6	35	102	11	42	48	89%
宮古	127	10	37	154	10	40	27	21%
久慈	147	19	43	85	8	39	-62	-42%
二戸	116	13	39	108	10	40	-8	-7%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

3-1. もりおか 盛岡医療圏

構成市区町村 [盛岡市](#) [八幡平市](#) [滝沢市](#) [雫石町](#)
[葛巻町](#) [岩手町](#) [紫波町](#) [矢巾町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(盛岡医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 盛岡(盛岡市)は、総人口約477千人(2015年)、面積3,642km²、人口密度は131人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 盛岡の総人口は2025年に453千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に396千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の63千人が、2025年にかけて80千人へと増加し(2015年比+27%)、2040年には90千人へと増加する(2025年比+13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 盛岡の一人当たり医療費(国保)は372千円(偏差値56)、介護給付費は280千円(偏差値58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 盛岡の一人当たり急性期医療密度指数は1.83、一人当たり慢性期医療密度指数は1.19で、急性期の医療はかなり余裕があるが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が54(病院医師数56、診療所医師数47)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は60と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。盛岡には、年間全身麻酔件数が2000例以上の盛岡赤十字病院(Ⅲ群)、岩手県立中央病院(Ⅱ群)、岩手医科大学附属病院(Ⅰ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値57と多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 盛岡の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,778人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が4,615床(偏差値60)、高齢者住宅等が2,163床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,530人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設68、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム39、軽費ホーム63、グループホーム47、サ高住54である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、1,078人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(盛岡医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

盛岡医療圏の総人口は、2005年489,492人が、2015年に476,758人と3%減少し、2025年の人口が452,639人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

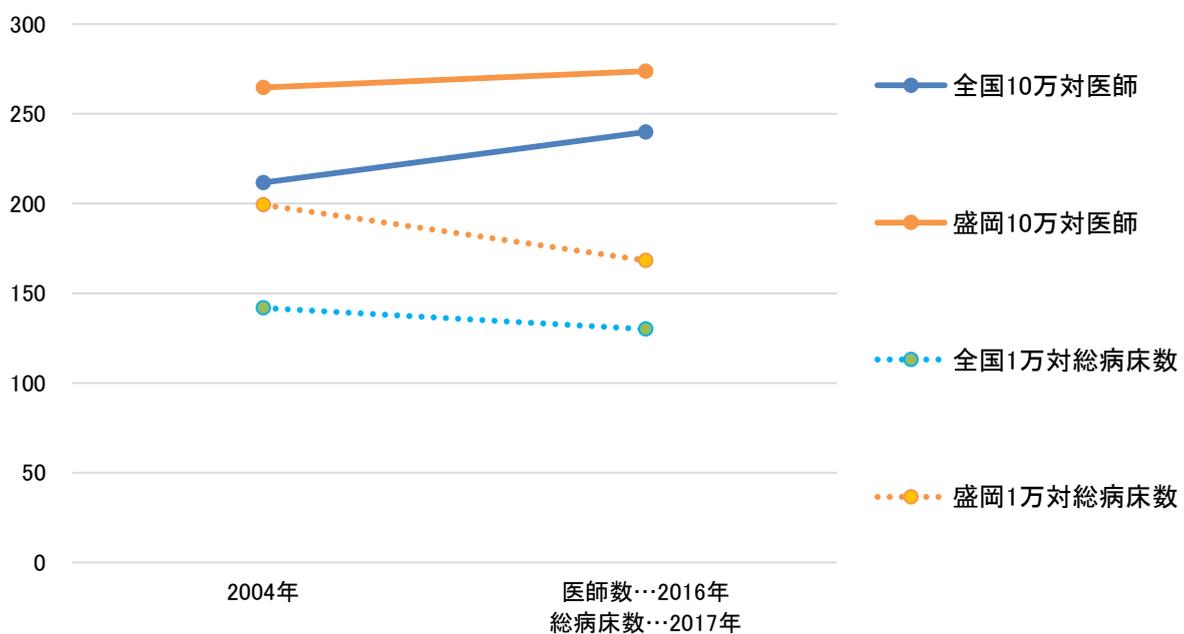
2004年の病院数が45(人口10万人当たり9.2病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2017年に39(人口10万人当たり8.2病院(全国平均6.6)偏差値53)となり、13年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が385(人口10万人当たり79診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2017年に361(人口10万人当たり76診療所(全国平均80)偏差値48)と、24診療所が減少した。

2004年の総病床数が9,755床(人口1万人当たり199(全国平均142)偏差値60)であったが、2017年に8,024床(人口1万人当たり168(全国平均130)偏差値57)と、1,731床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

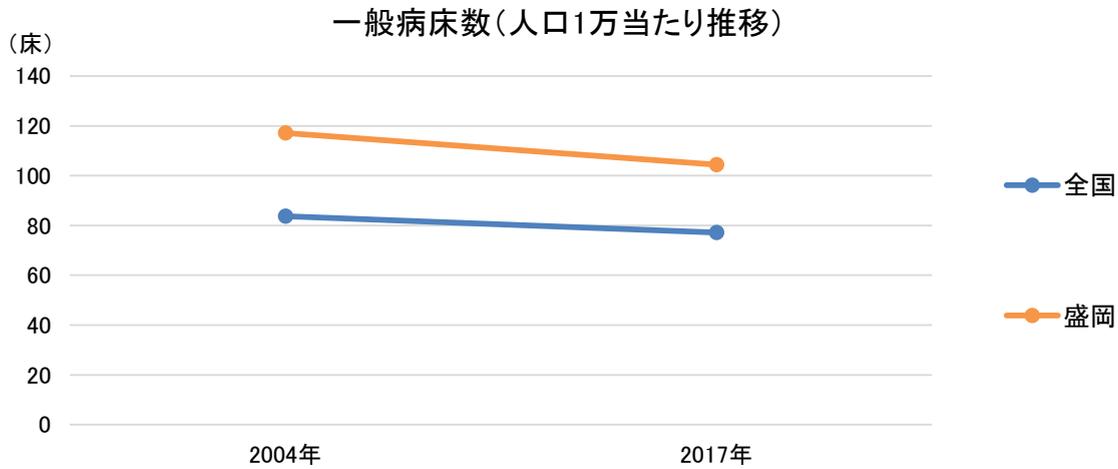
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,296人(人口10万人当たり265人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2016年に1,305人(人口10万人当たり274人(全国平均240人)偏差値54)と、9人の増加、率にして1%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



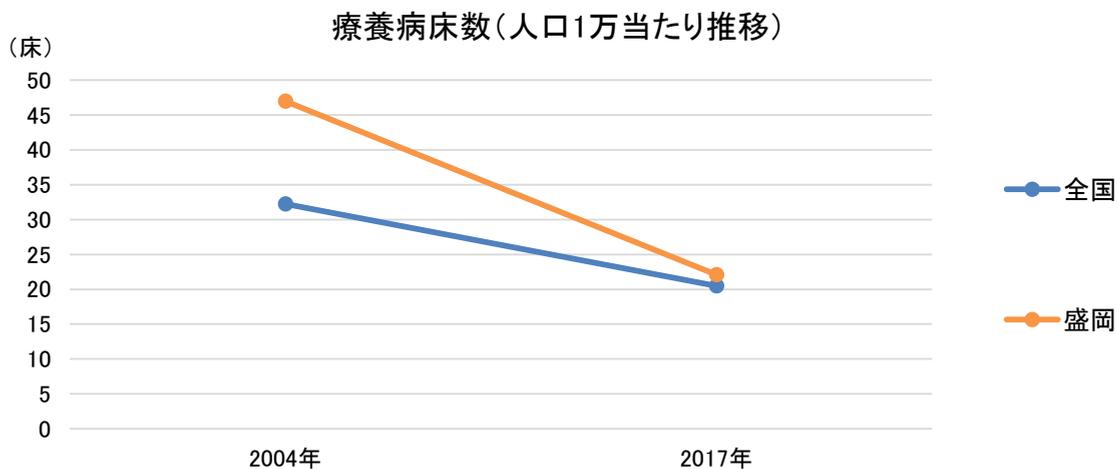
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5,736床(人口1万人当たり117(全国平均84)偏差値62)であったが、2017年に4,976床(人口1万人当たり104(全国平均77)偏差値60)と、760床の減少、率にして13%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



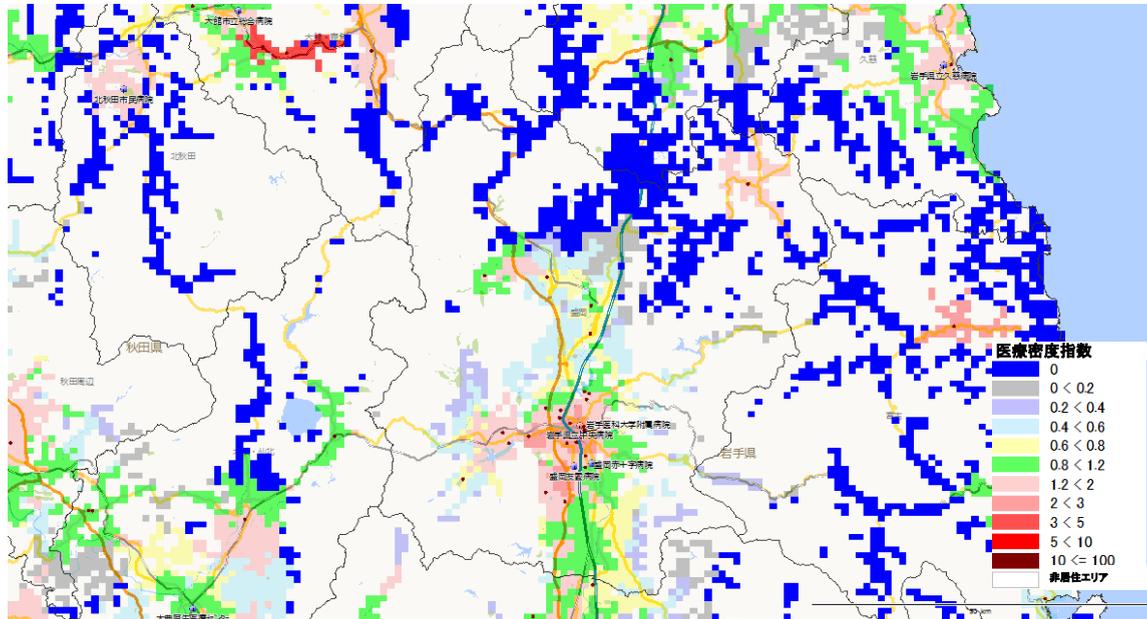
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2,079床(75歳以上1,000人当たり47(全国平均32)偏差値58)であったが、2017年に1,391床(75歳以上1,000人当たり22(全国平均20)偏差値51)と、688床の減少、率にして33%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



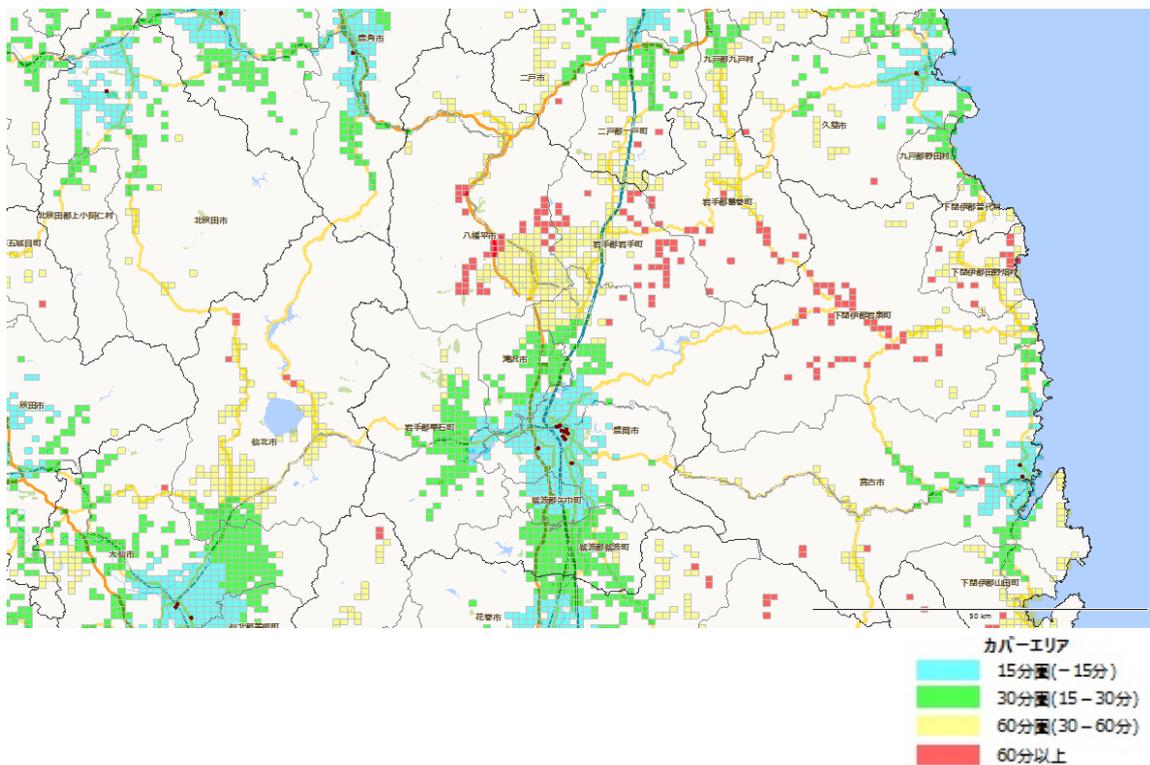
(盛岡医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表3-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-1-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

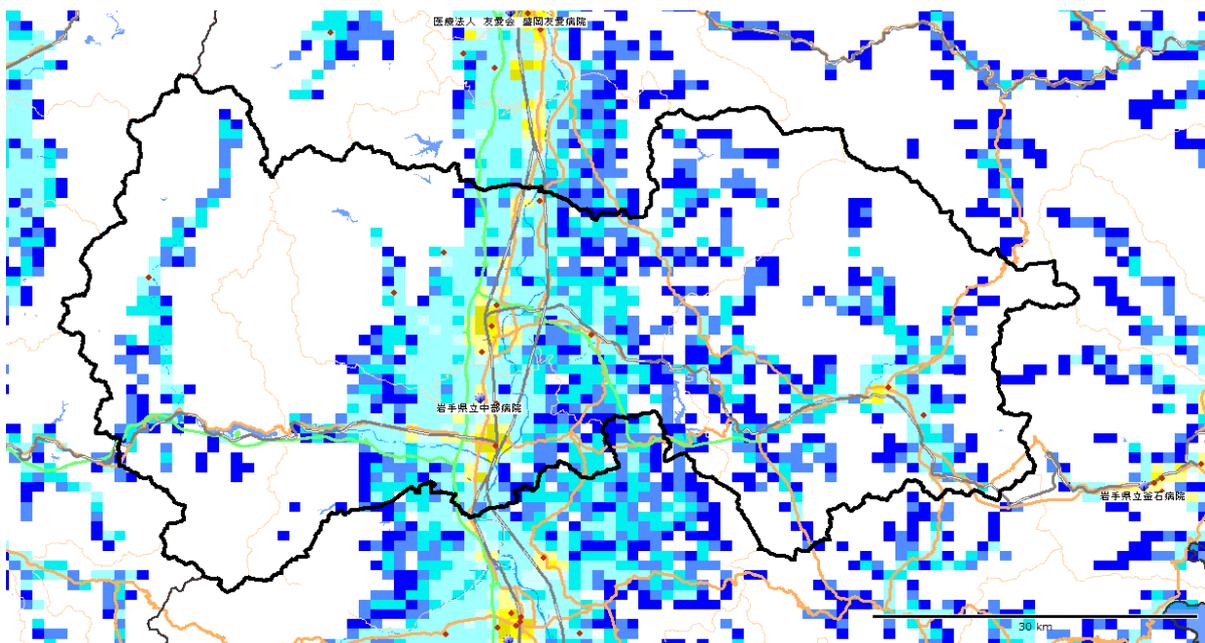


3-2. いわてちゅうぶ 岩手中部医療圏

構成市区町村 [花巻市](#) [北上市](#) [遠野市](#) [西和賀町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(岩手中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 岩手中部(花巻市)は、総人口約225千人(2015年)、面積2,763km²、人口密度は81人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 岩手中部の総人口は2025年に207千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に175千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の37千人が、2025年にかけて41千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には42千人へと増加する(2025年比+2%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 岩手中部の一人当たり医療費(国保)は351千円(偏差値51)、介護給付費は279千円(偏差値58)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 岩手中部の一人当たり急性期医療密度指数は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は0.49で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が39(病院医師数39、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。岩手中部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の岩手県立中部病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は39と療養病床数は少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値41と少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 岩手中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,380人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,488床(偏差値55)、高齢者住宅等が892床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,217人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム37、軽費ホーム60、グループホーム52、サ高住40である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、339人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(岩手中部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

岩手中部医療圏の総人口は、2005年238,126人が、2015年に225,155人と5%減少し、2025年の人口が207,250人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

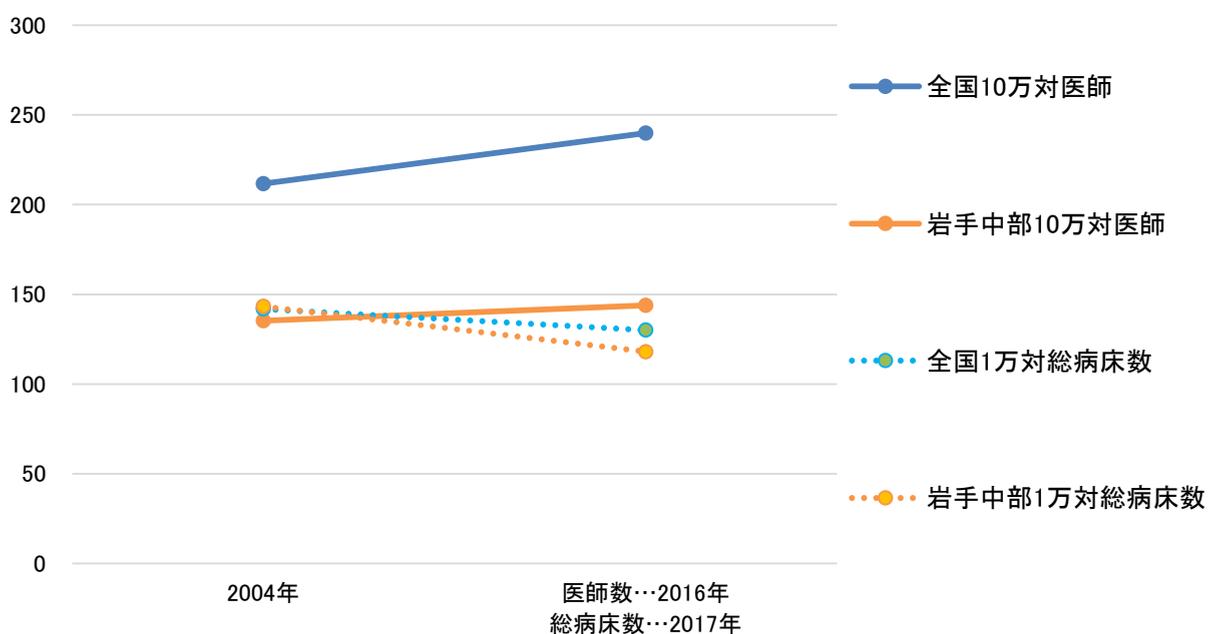
2004年の病院数が15(人口10万人当たり6.3病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2017年に13(人口10万人当たり5.8病院(全国平均6.6)偏差値48)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が165(人口10万人当たり69診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2017年に153(人口10万人当たり68診療所(全国平均80)偏差値44)と、12診療所が減少した。

2004年の総病床数が3,412床(人口1万人当たり143(全国平均142)偏差値50)であったが、2017年に2,657床(人口1万人当たり118(全国平均130)偏差値48)と、755床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が322人(人口10万人当たり135人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2016年に324人(人口10万人当たり144人(全国平均240人)偏差値39)と、2人の増加、率にして1%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

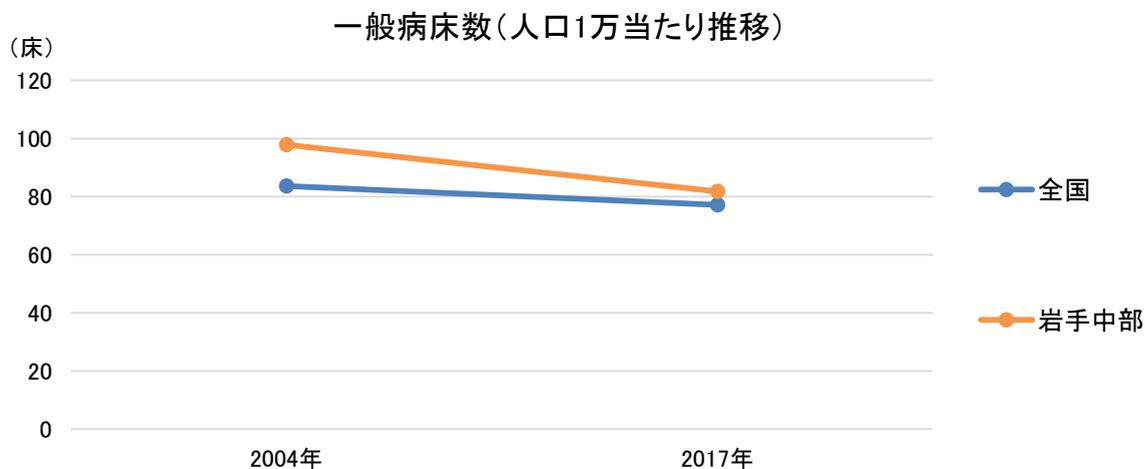
人口当たり医師数・総病床数の推移



3.岩手県(2018年版)

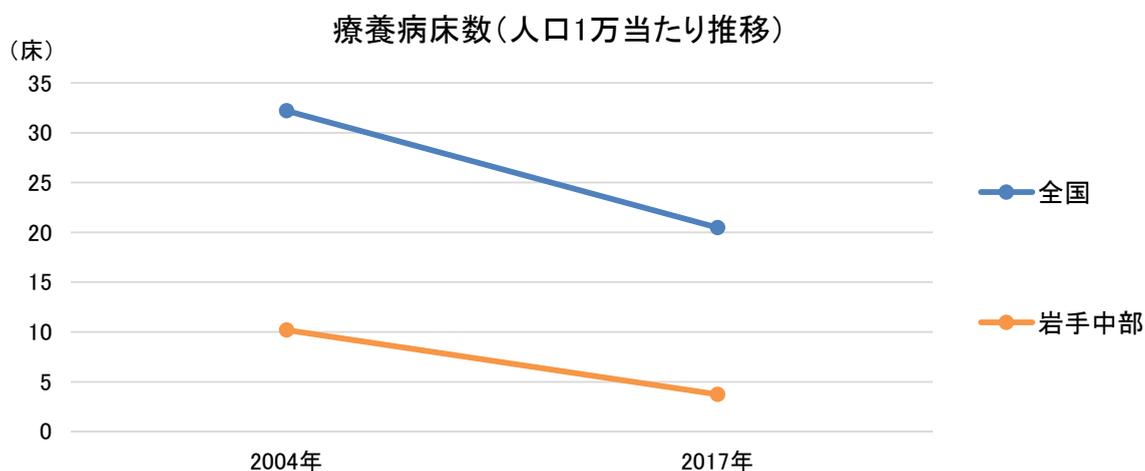
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,331床(人口1万人当たり98(全国平均84)偏差値55)であったが、2017年に1,841床(人口1万人当たり82(全国平均77)偏差値52)と、490床の減少、率にして21%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



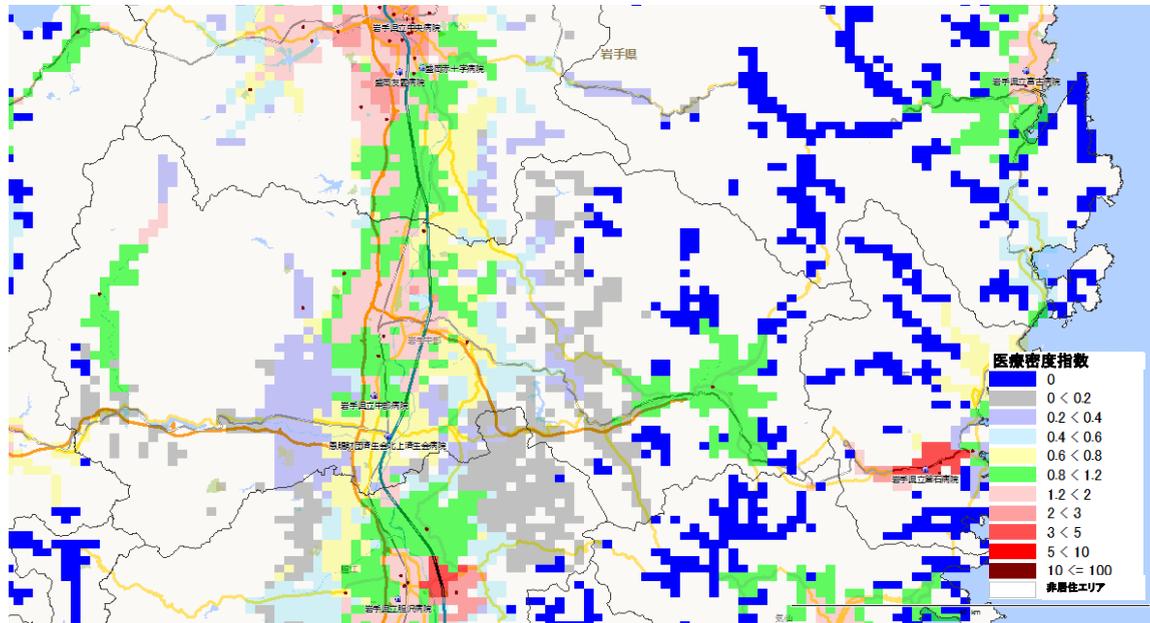
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が289床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均32)偏差値37)であったが、2017年に138床(75歳以上1,000人当たり4(全国平均20)偏差値35)と、151床の減少、率にして52%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



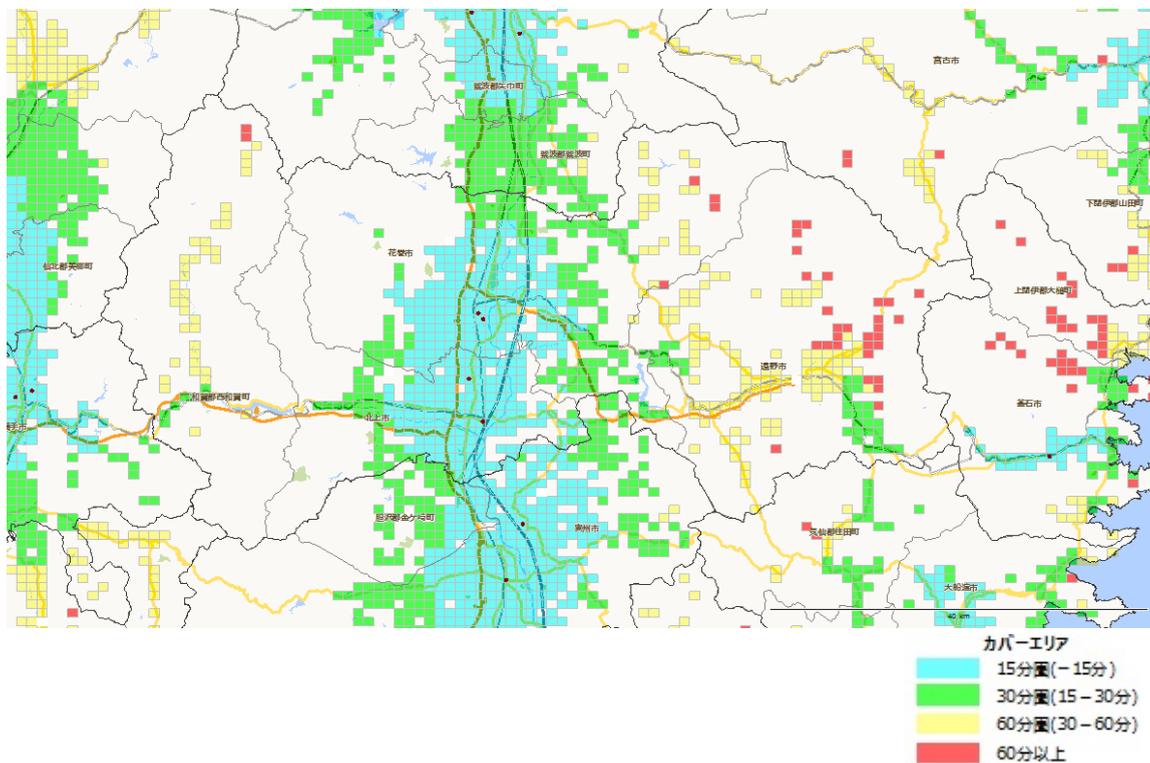
(岩手中部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表3-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-2-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

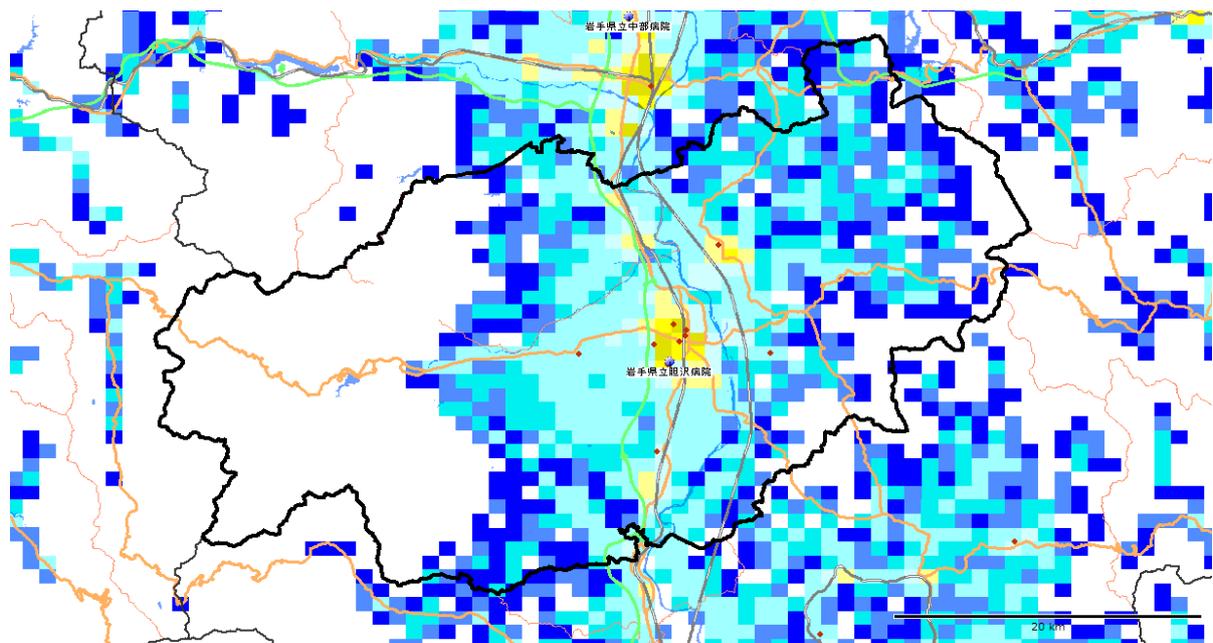


3-3. たんこう 胆江医療圏

構成市区町村 [奥州市](#) [金ケ崎町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(胆江医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：胆江(奥州市)は、総人口約135千人(2015年)、面積1,173km²、人口密度は115人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測：胆江の総人口は2025年に121千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に98千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の24千人が、2025年にかけて26千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には26千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：胆江の一人当たり医療費(国保)は333千円(偏差値47)、介護給付費は249千円(偏差値49)であり、医療費はやや低い、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度：胆江の一人当たり急性期医療密度指数は1.08、一人当たり慢性期医療密度指数は1.07で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状：総医師数の偏差値が41(病院医師数40、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。胆江には、年間全身麻酔件数が1000例以上の岩手県立胆沢病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状：総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：胆江の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,009人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,510床(偏差値51)、高齢者住宅等が499床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,793人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム46、サ高住45である。

*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値33と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、234人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測：2025年の介護充足度指数は-16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(胆江医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

胆江医療圏の総人口は、2005年146,567人が、2015年に135,317人と8%減少し、2025年の人口が121,261人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

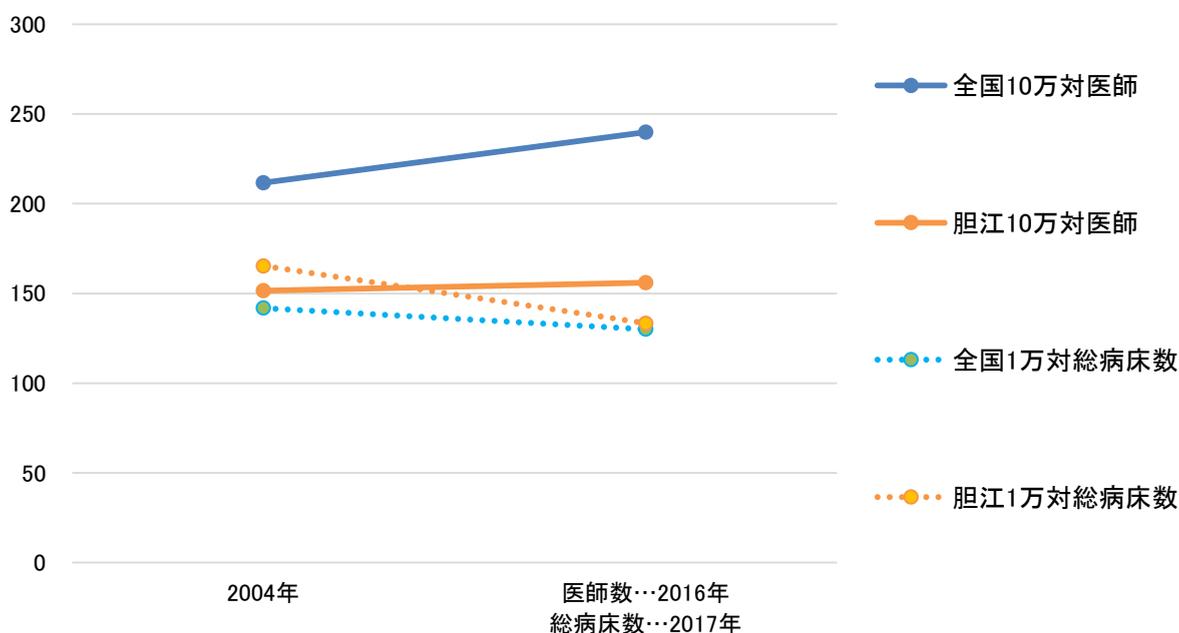
2004年の病院数が11(人口10万人当たり7.5病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2017年に9(人口10万人当たり6.7病院(全国平均6.6)偏差値50)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が94(人口10万人当たり64診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2017年に102(人口10万人当たり75診療所(全国平均80)偏差値48)と、8診療所が増加した。

2004年の総病床数が2,423床(人口1万人当たり165(全国平均142)偏差値54)であったが、2017年に1,805床(人口1万人当たり133(全国平均130)偏差値51)と、618床の減少、率にして26%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

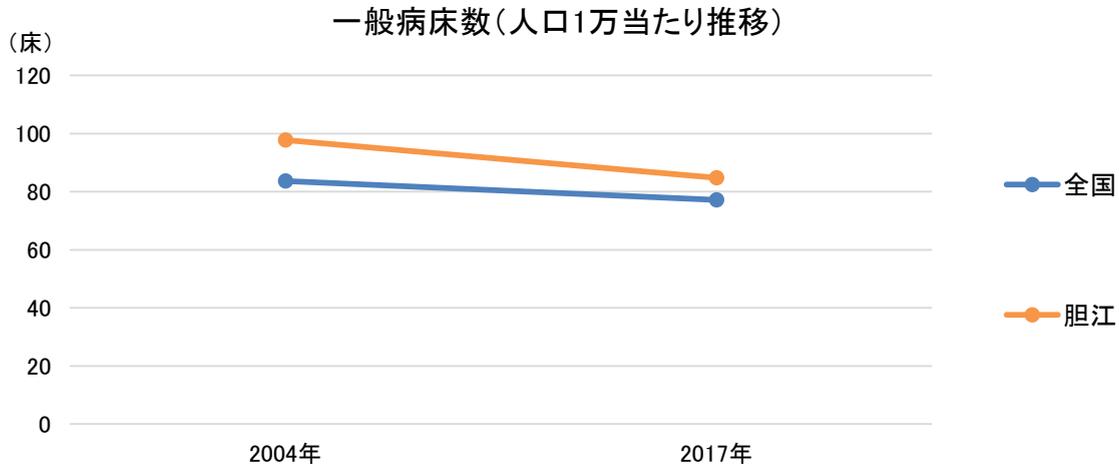
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が222人(人口10万人当たり151人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2016年に211人(人口10万人当たり156人(全国平均240人)偏差値41)と、11人の減少、率にして5%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



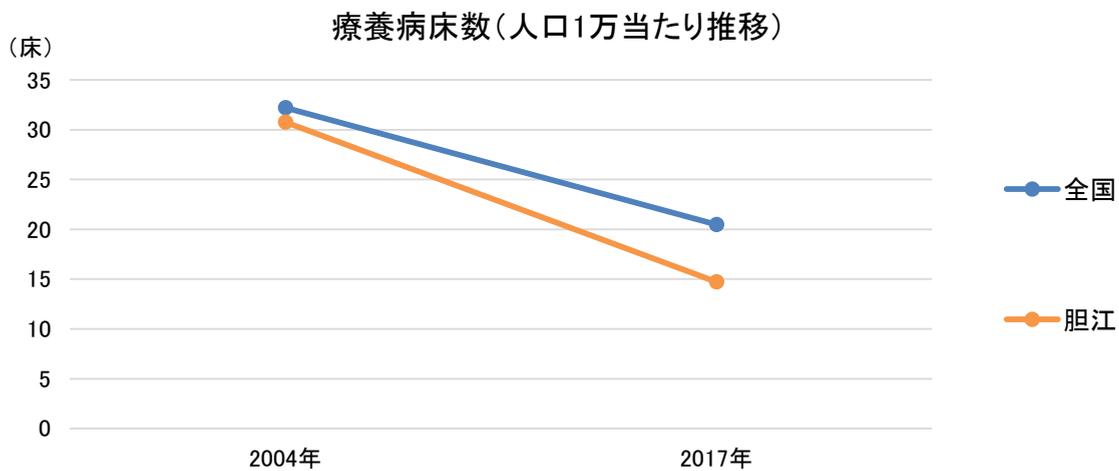
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,432床(人口1万人当たり98(全国平均84)偏差値55)であったが、2017年に1,147床(人口1万人当たり85(全国平均77)偏差値53)と、285床の減少、率にして20%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



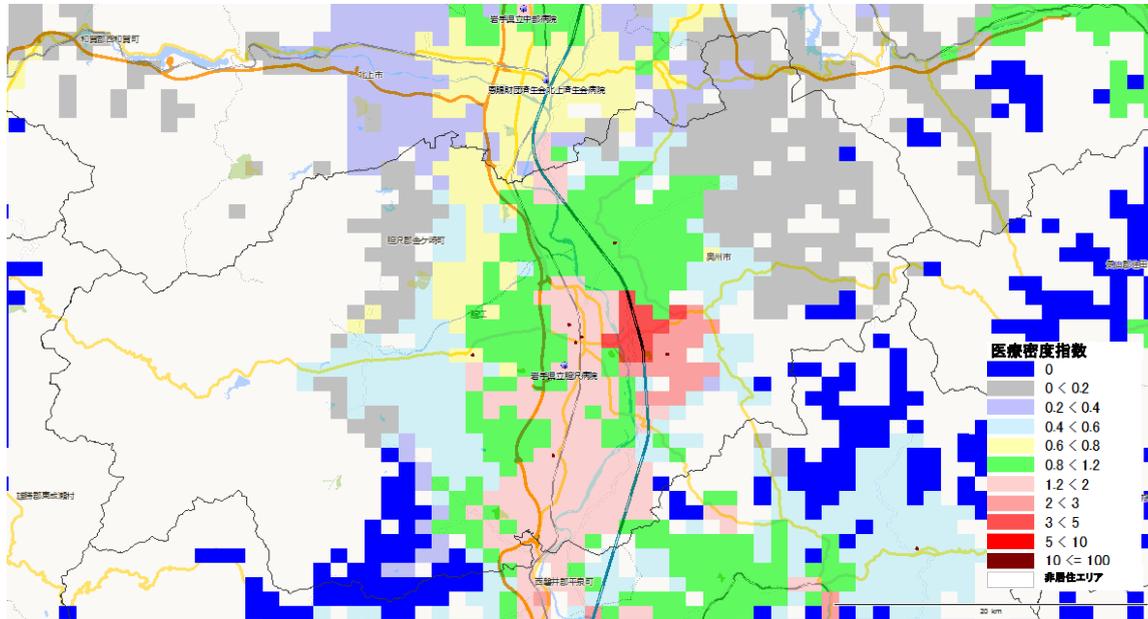
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が577床(75歳以上1,000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2017年に356床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均20)偏差値45)と、221床の減少、率にして38%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



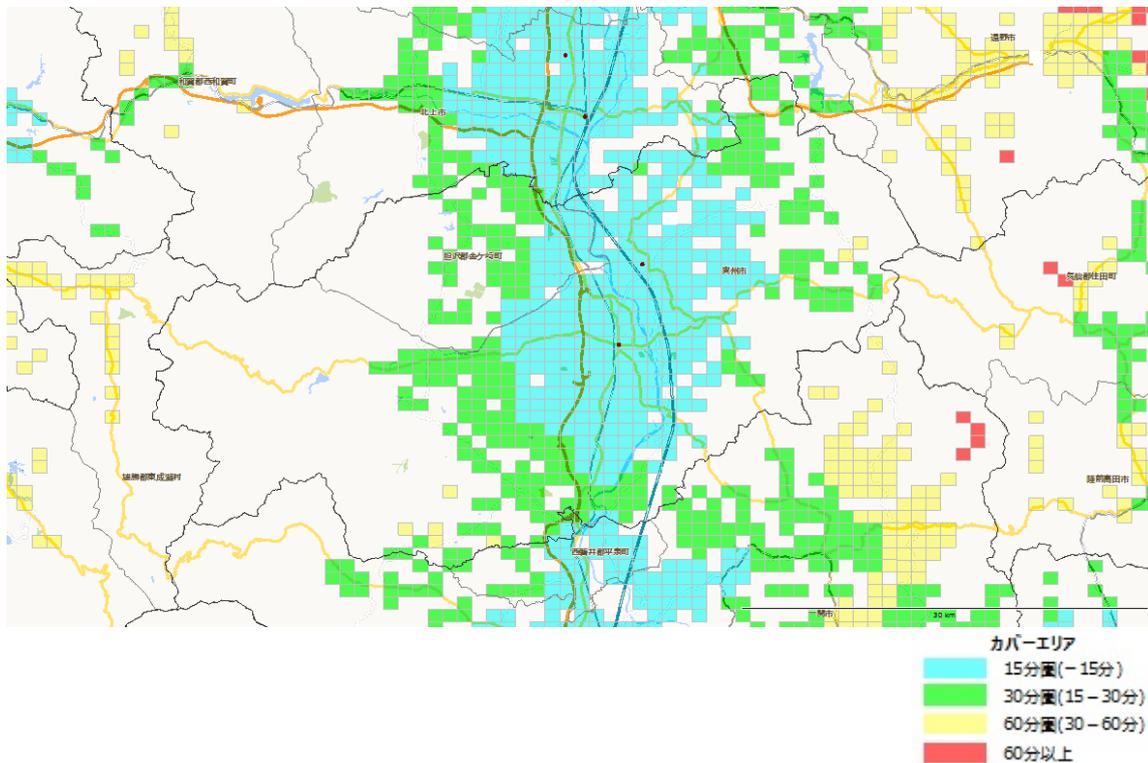
(胆江医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表3-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-3-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

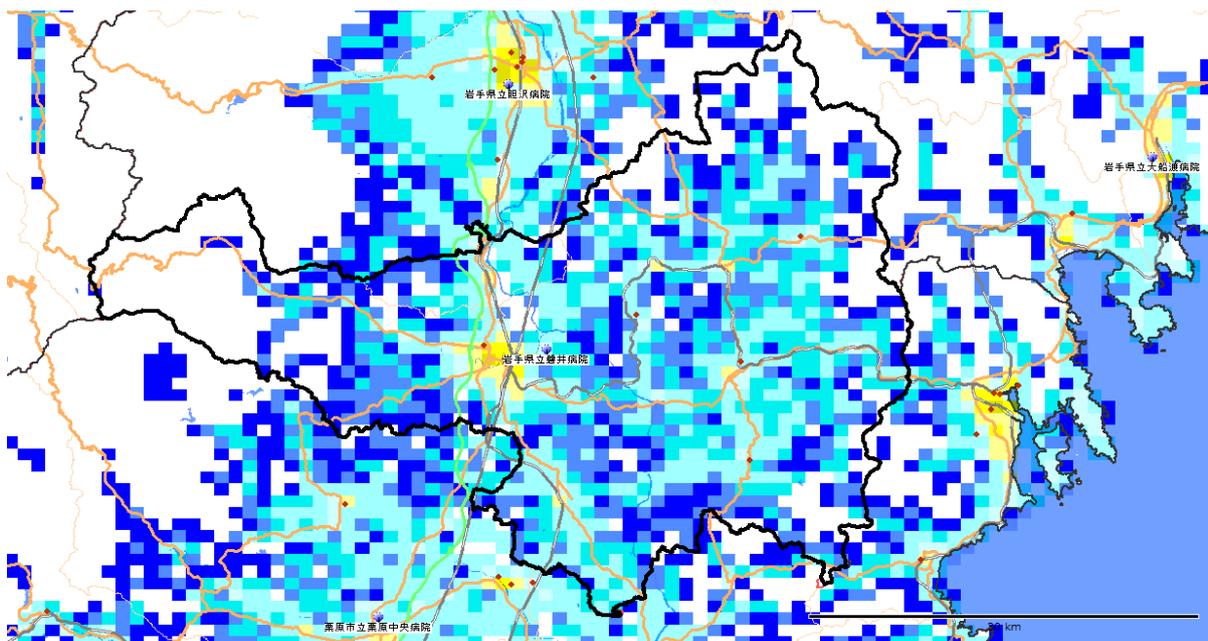


3-4. りょうばん 両磐医療圏

構成市区町村 [一関市](#) [平泉町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(両磐医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 両磐(一関市)は、総人口約129千人(2015年)、面積1,320km²、人口密度は98人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 両磐の総人口は2025年に114千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に91千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の25千人が、2025年にかけて26千人へと増加し(2015年比+4%)、2040年には27千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 両磐の一人当たり医療費(国保)は334千円(偏差値47)、介護給付費は286千円(偏差値60)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 両磐の一人当たり急性期医療密度指数は1.07、一人当たり慢性期医療密度指数は0.54で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が41(病院医師数42、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。両磐には、年間全身麻酔件数が1000例以上の岩手県立磐井病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は40と療養病床数は少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値42と少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 両磐の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,527人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,720床(偏差値57)、高齢者住宅等が807床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,017人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム40、軽費ホーム62、グループホーム53、サ高住46である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値35と少なく、在宅療養支援病院は偏差値61と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、242人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は+9%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(両磐医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

両磐医療圏の総人口は、2005年144,541人が、2015年に129,451人と10%減少し、2025年の人口が114,307人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

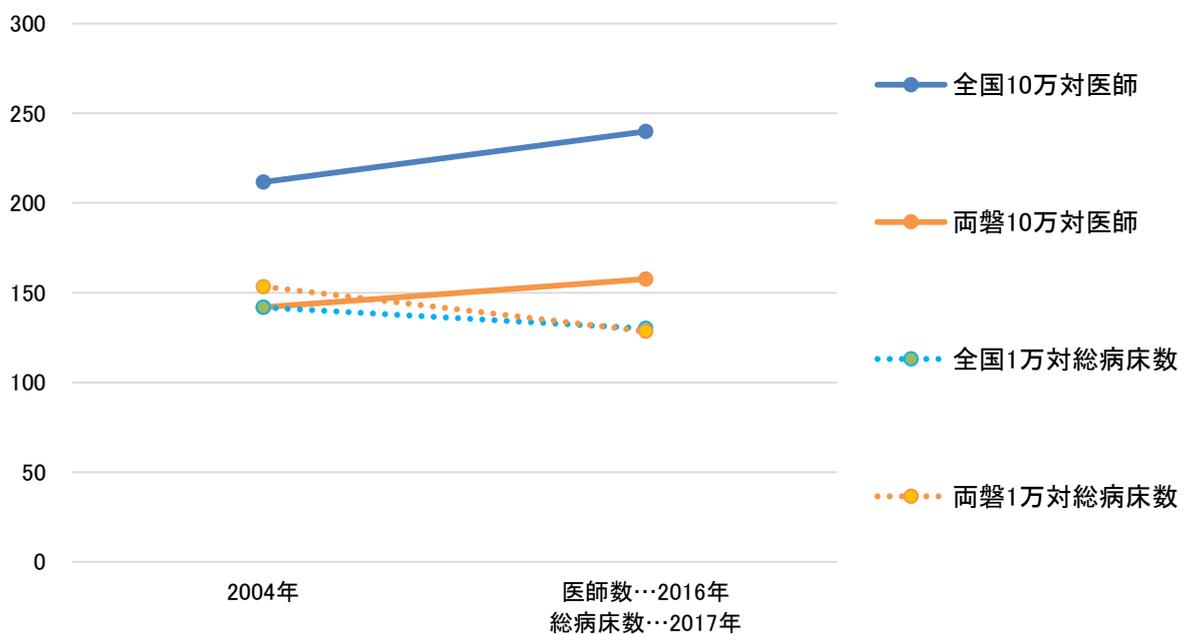
2004年の病院数が12(人口10万人当たり8.3病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2017年に10(人口10万人当たり7.7病院(全国平均6.6)偏差値52)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が85(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2017年に84(人口10万人当たり65診療所(全国平均80)偏差値42)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,217床(人口1万人当たり153(全国平均142)偏差値52)であったが、2017年に1,663床(人口1万人当たり128(全国平均130)偏差値50)と、554床の減少、率にして25%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が205人(人口10万人当たり142人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2016年に204人(人口10万人当たり158人(全国平均240人)偏差値41)と、1人の減少、率にして1%未満の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

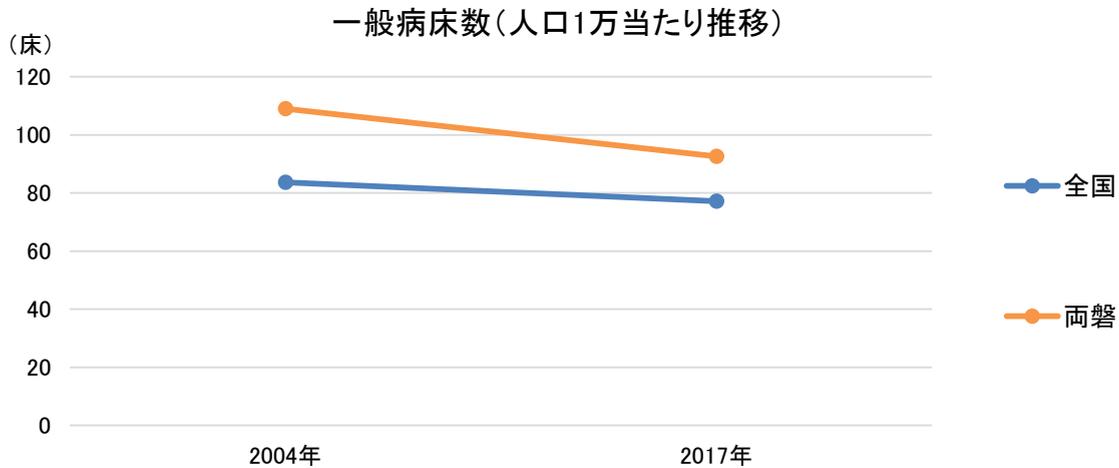
人口当たり医師数・総病床数の推移



3.岩手県(2018年版)

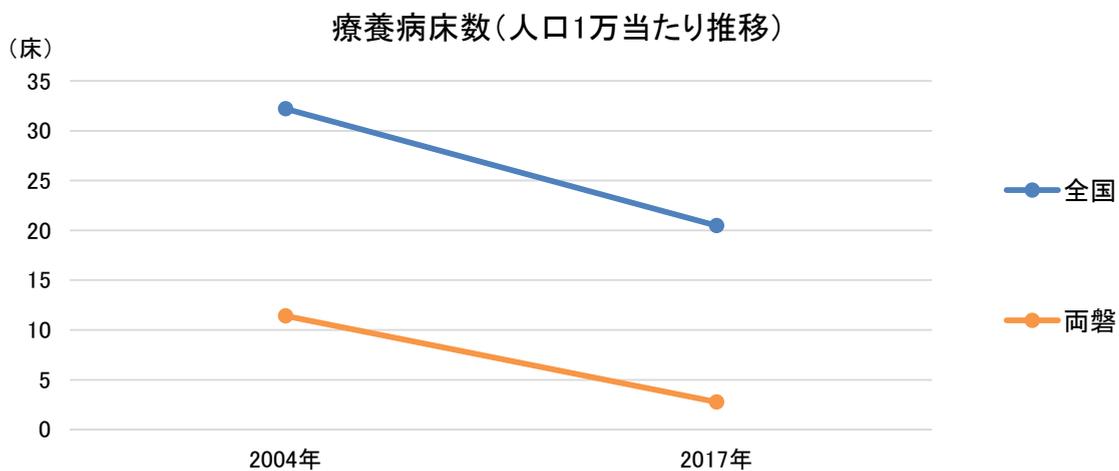
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,576床(人口1万人当たり109(全国平均84)偏差値59)であったが、2017年に1,199床(人口1万人当たり93(全国平均77)偏差値56)と、377床の減少、率にして24%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



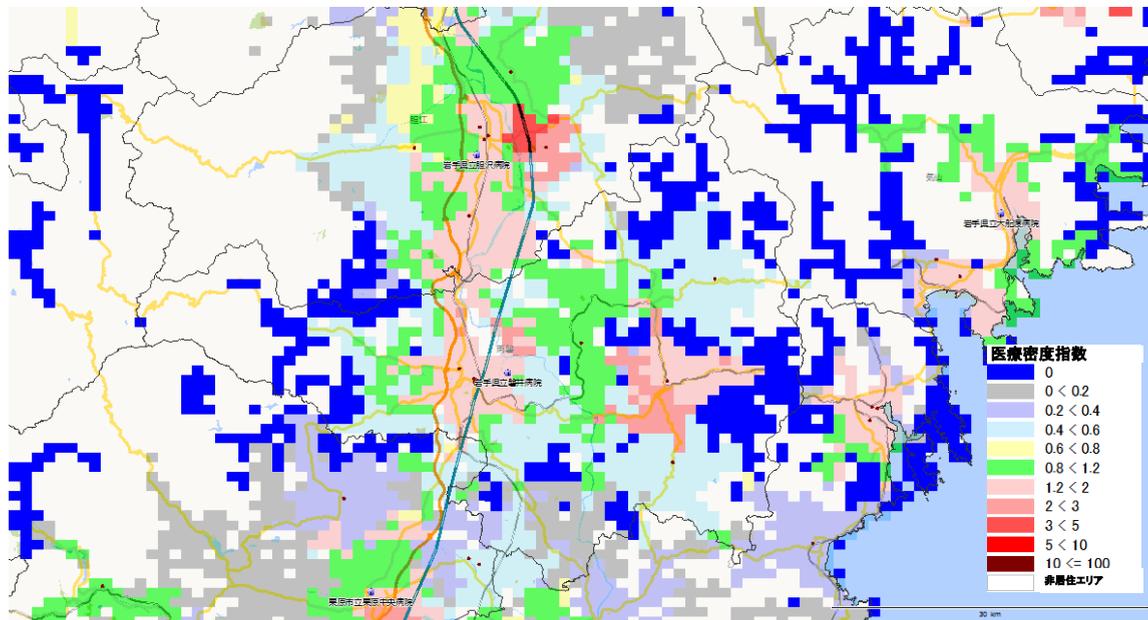
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が233床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均32)偏差値38)であったが、2017年に68床(75歳以上1,000人当たり3(全国平均20)偏差値34)と、165床の減少、率にして71%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



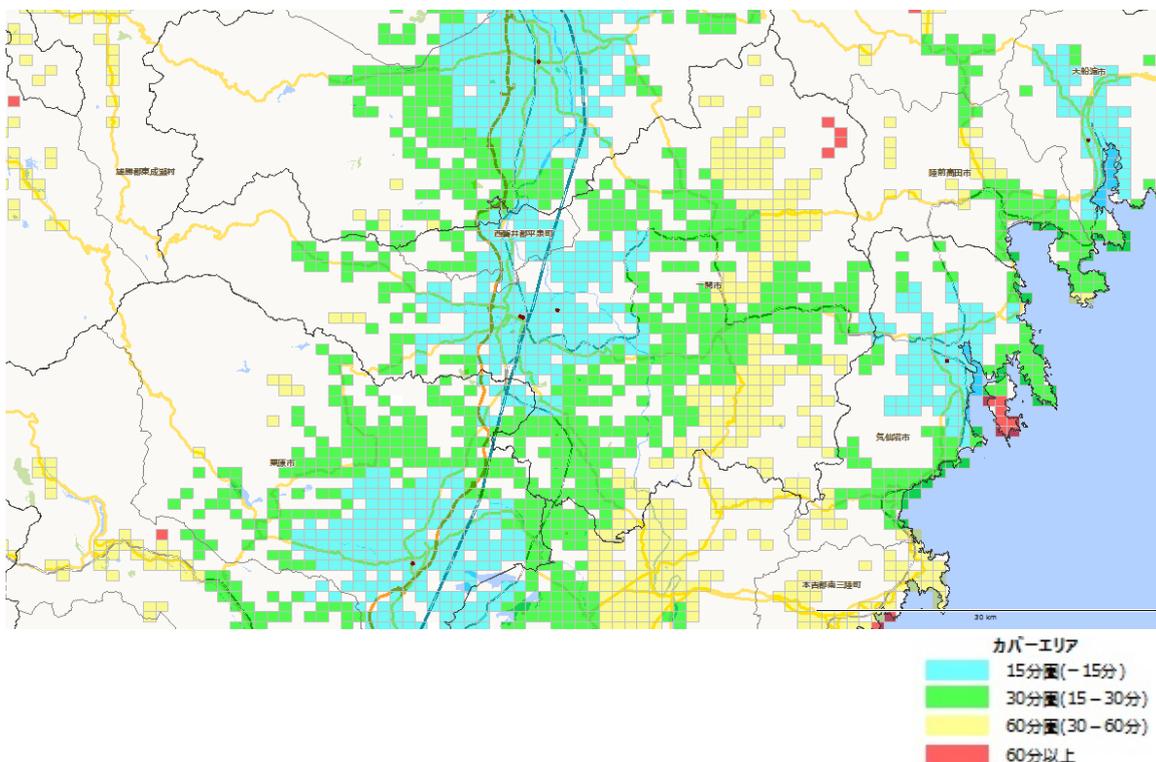
(両磐医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表3-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-4-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

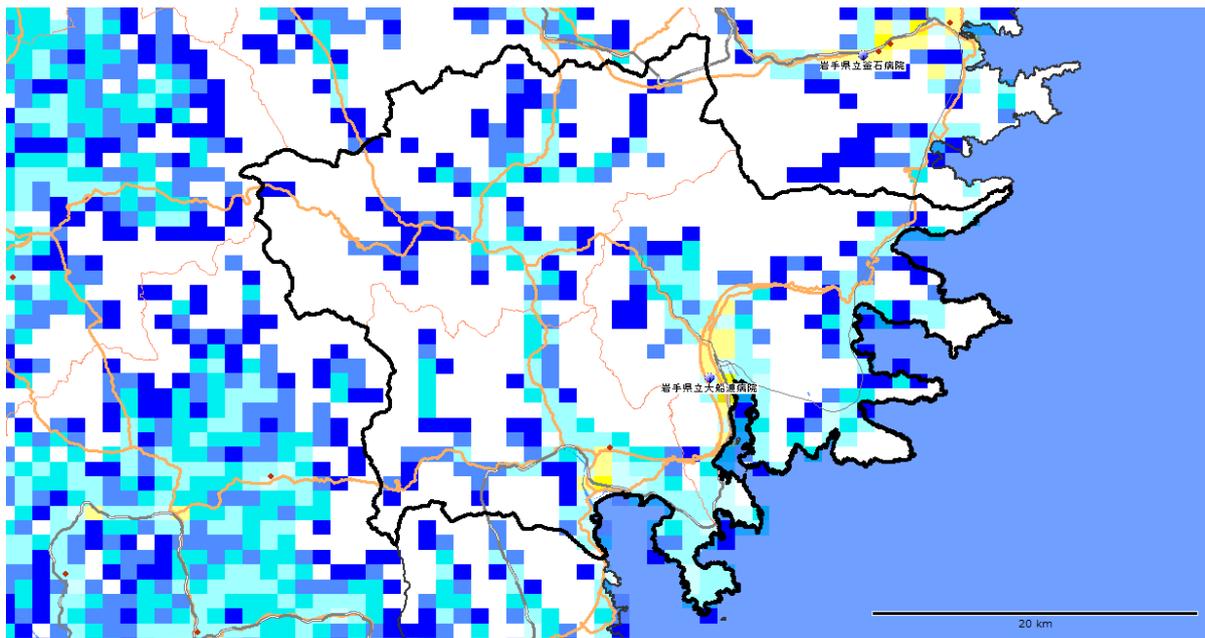


3-5. け せ ん 気仙医療圏

構成市区町村 [大船渡市](#) [陸前高田市](#) [住田町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(気仙医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 気仙(大船渡市)は、総人口約64千人(2015年)、面積889km²、人口密度は71人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 気仙の総人口は2025年に54千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に40千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の12千人が、2025年にかけて14千人へと増加し(2015年比+17%)、2040年には13千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 気仙の一人当たり医療費(国保)は385千円(偏差値59)、介護給付費は276千円(偏差値57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 気仙の一人当たり急性期医療密度指数は1.03、一人当たり慢性期医療密度指数は0.23で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が40(病院医師数41、診療所医師数38)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。気仙には、年間全身麻酔件数が500例以上の岩手県立大船渡病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値35と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 気仙の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、978人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が868床(偏差値57)、高齢者住宅等が110床(偏差値28)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、880人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム41、サ高住32である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値34と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、118人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-19%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(気仙医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

気仙医療圏の総人口は、2005年74,888人が、2015年に63,536人と15%減少し、2025年の人口が54,139人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%減少し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

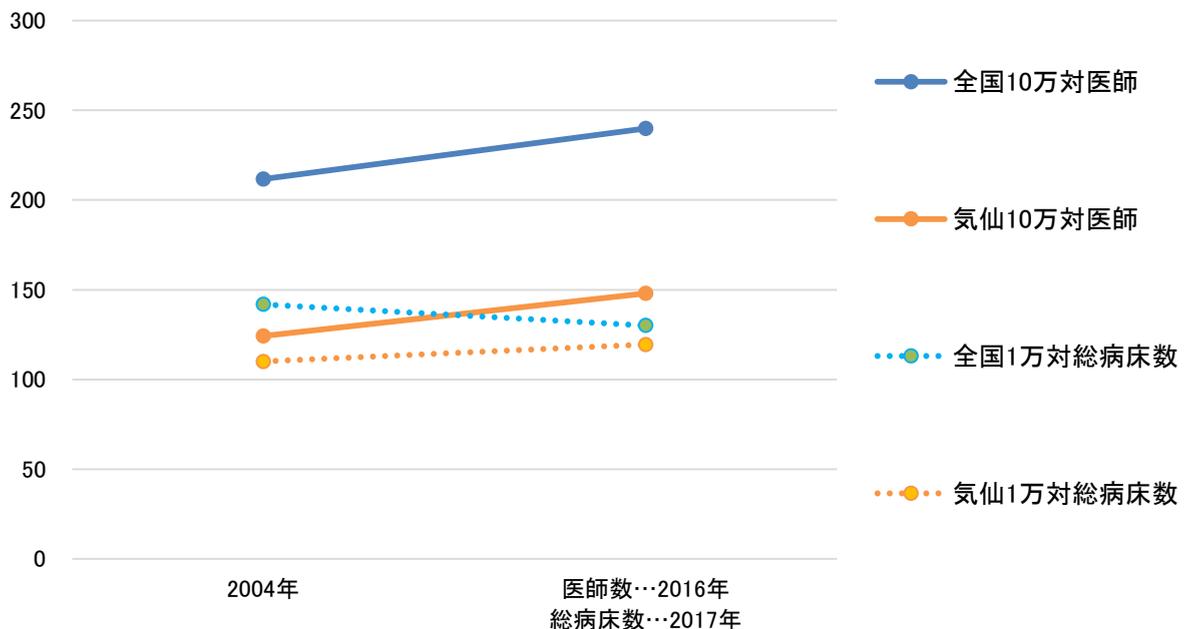
2004年の病院数が4(人口10万人当たり5.3病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2017年に3(人口10万人当たり4.7病院(全国平均6.6)偏差値46)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が44(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2017年に37(人口10万人当たり58診療所(全国平均80)偏差値39)と、7診療所が減少した。

2004年の総病床数が824床(人口1万人当たり110(全国平均142)偏差値44)であったが、2017年に759床(人口1万人当たり119(全国平均130)偏差値48)と、65床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

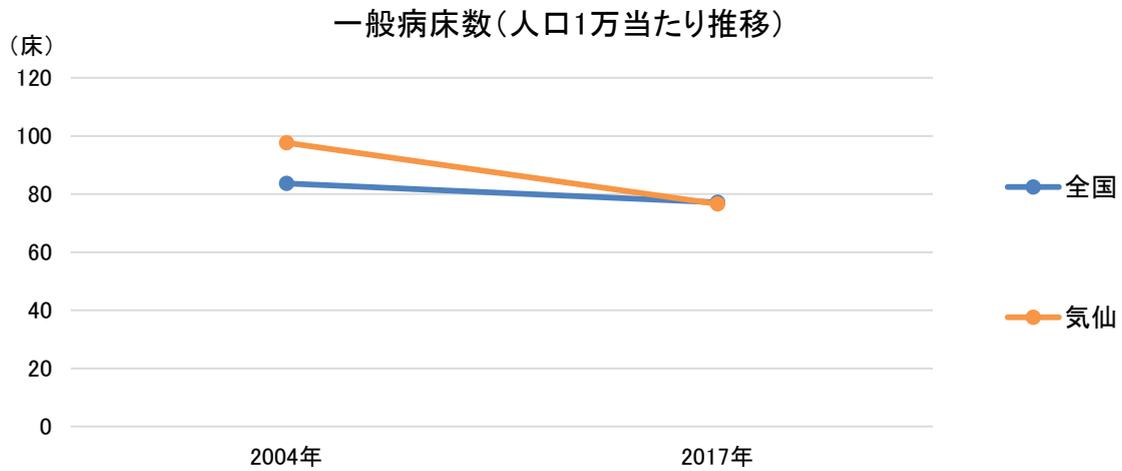
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が93人(人口10万人当たり124人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2016年に94人(人口10万人当たり148人(全国平均240人)偏差値40)と、1人の増加、率にして1%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移

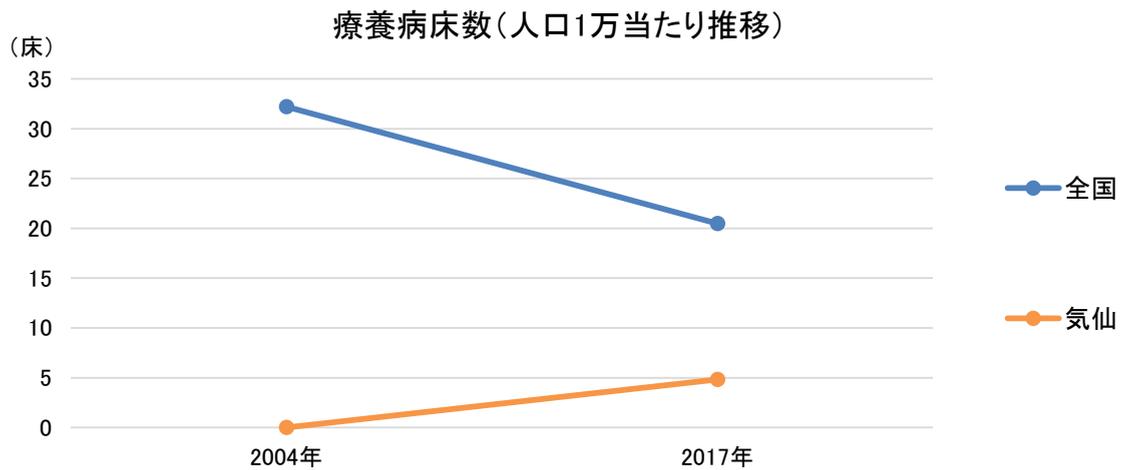


【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が731床(人口1万人当たり98(全国平均84)偏差値55)であったが、2017年に487床(人口1万人当たり77(全国平均77)偏差値50)と、244床の減少、率にして33%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。

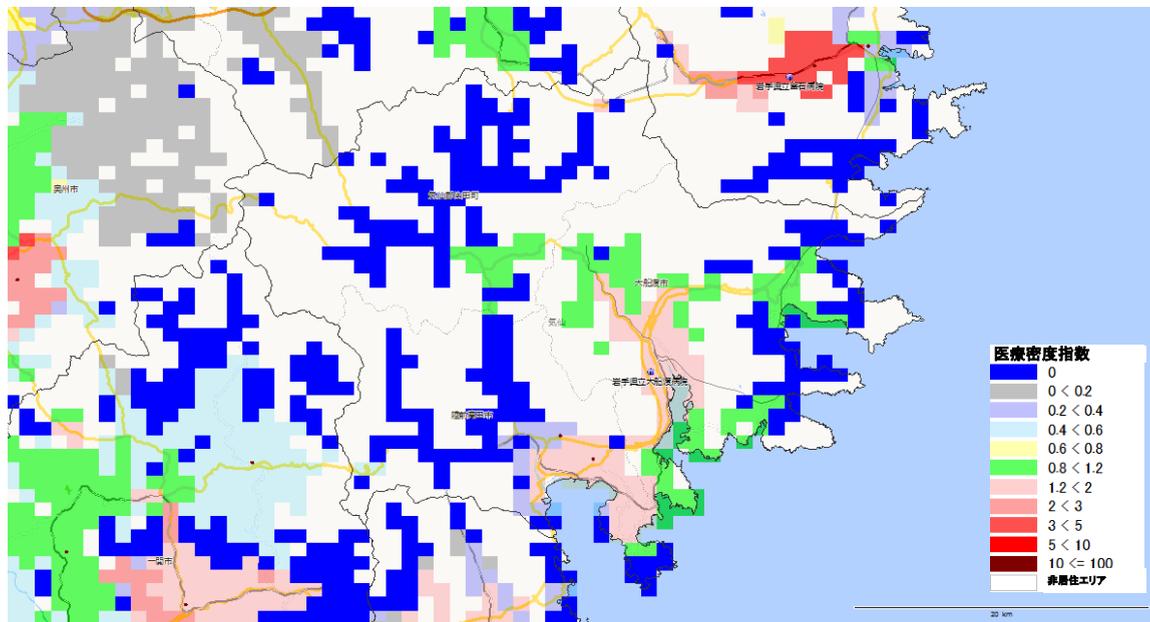


【療養病床の推移】



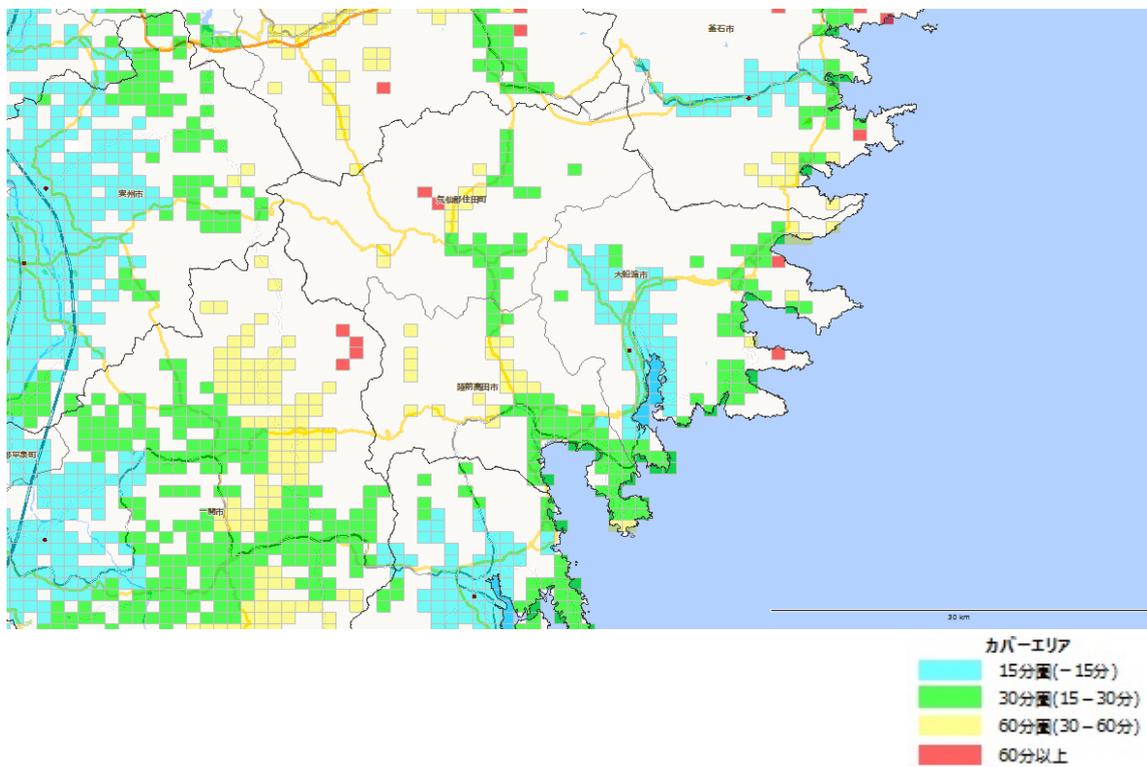
(気仙医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表3-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-5-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

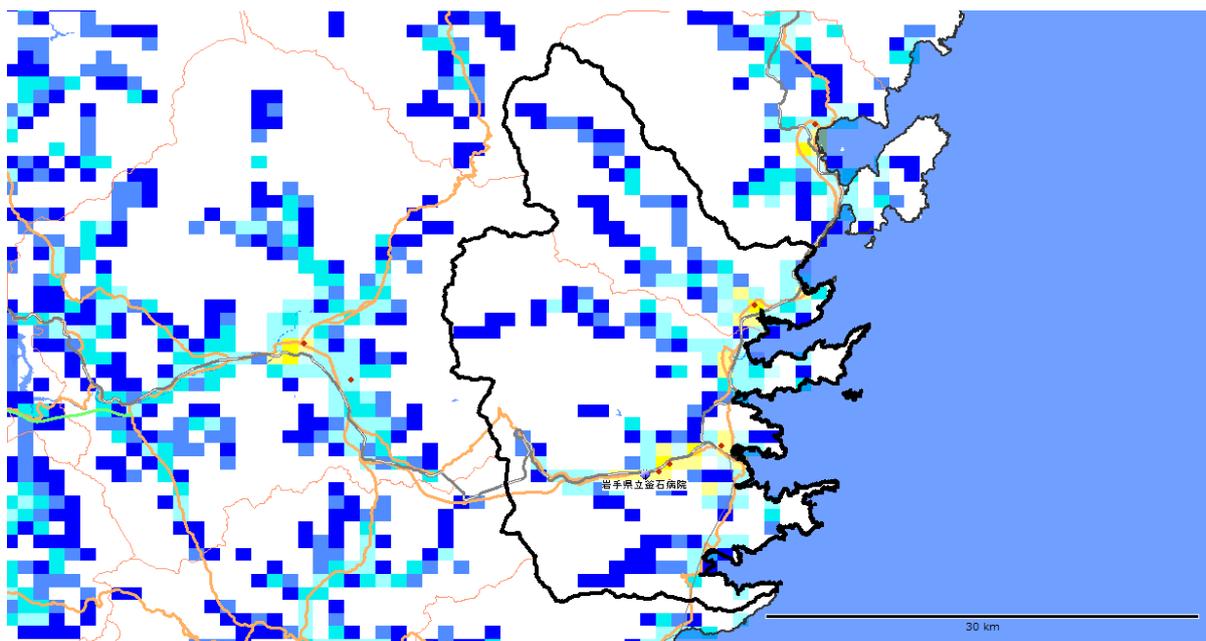


3-6. かまいし 釜石医療圏

構成市区町村 [釜石市](#) [大槌町](#)

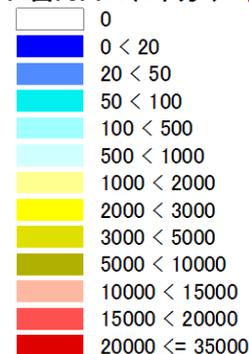
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(釜石医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 釜石(釜石市)は、総人口約49千人(2015年)、面積641km²、人口密度は76人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 釜石の総人口は2025年に41千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に30千人へと減少する(2025年比-27%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の9千人が、2025年にかけて10千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には8千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 釜石の一人当たり医療費(国保)は442千円(偏差値72)、介護給付費は266千円(偏差値54)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 釜石の一人当たり急性期医療密度指数は1.73、一人当たり慢性期医療密度指数は0.75で、急性期の医療はかなり余裕があるが、慢性期の医療は少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が39(病院医師数41、診療所医師数38)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は56と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は81で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。釜石には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は0である。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は36で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 釜石の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、785人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が668床(偏差値59)、高齢者住宅等が117床(偏差値31)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、692人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設65、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム51、サ高住なし(偏差値30)である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、84人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(釜石医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

釜石医療圏の総人口は、2005年59,503人が、2015年に48,561人と18%減少し、2025年の人口が41,242人と予測され、2005年→2025年の間に31%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に10%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

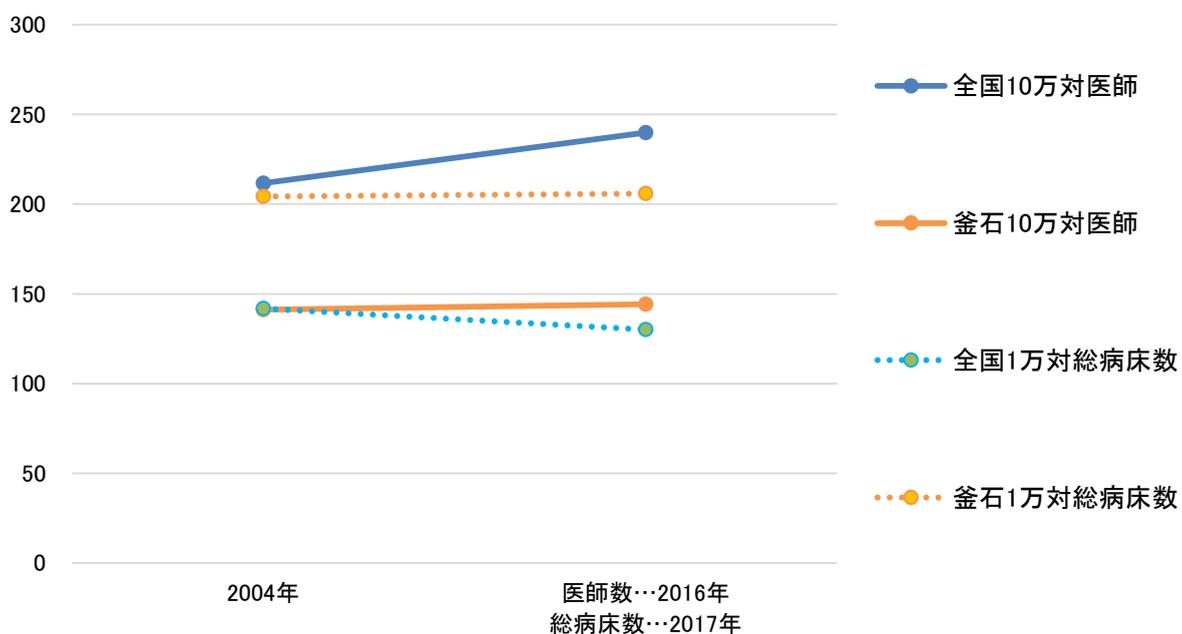
2004年の病院数が6(人口10万人当たり10.1病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2017年に6(人口10万人当たり12.4病院(全国平均6.6)偏差値63)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が28(人口10万人当たり47診療所(全国平均76)偏差値36)であったが、2017年に26(人口10万人当たり54診療所(全国平均80)偏差値36)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,216床(人口1万人当たり204(全国平均142)偏差値61)であったが、2017年に1,000床(人口1万人当たり206(全国平均130)偏差値64)と、216床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が84人(人口10万人当たり141人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2016年に70人(人口10万人当たり144人(全国平均240人)偏差値39)と、14人の減少、率にして17%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

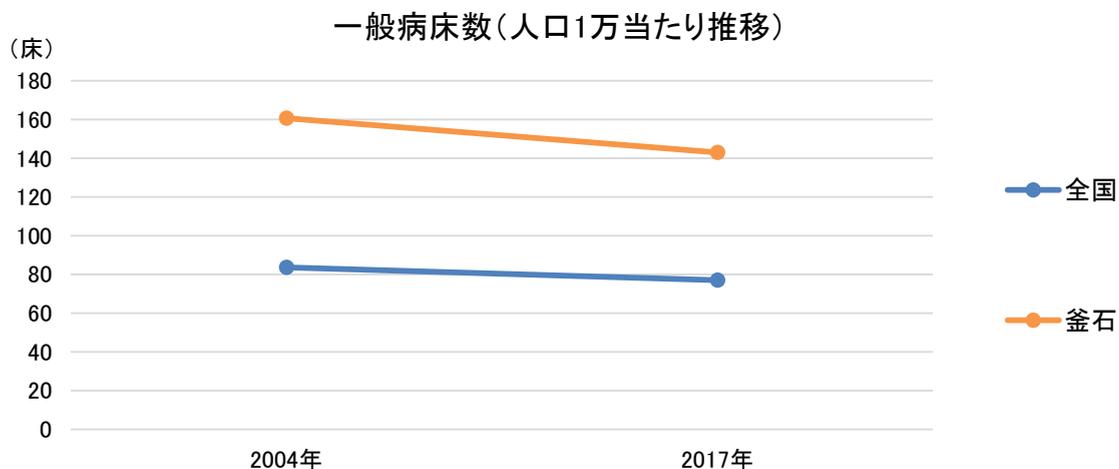
人口当たり医師数・総病床数の推移



3.岩手県(2018年版)

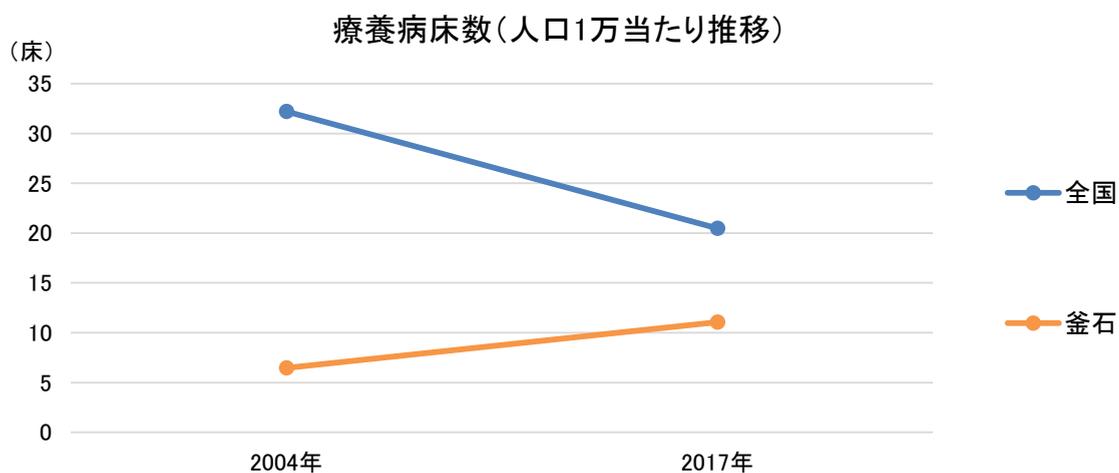
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が956床(人口1万人当たり161(全国平均84)偏差値77)であったが、2017年に694床(人口1万人当たり143(全国平均77)偏差値75)と、262床の減少、率にして27%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



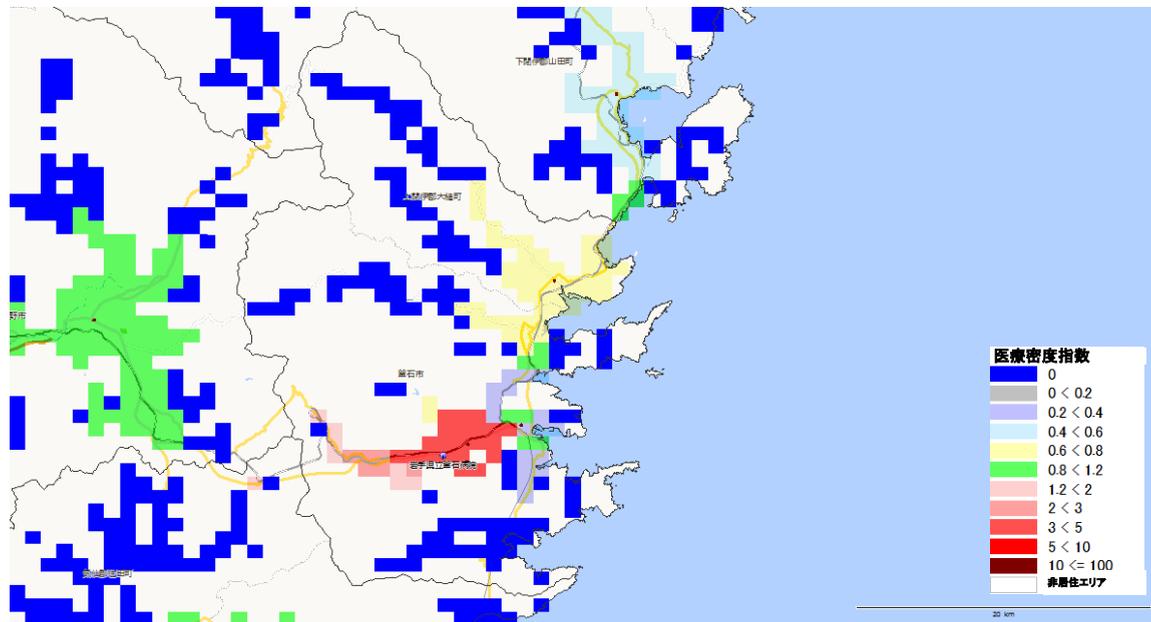
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が54床(75歳以上1,000人当たり6(全国平均32)偏差値35)であったが、2017年に102床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均20)偏差値42)と、48床の増加、率にして89%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



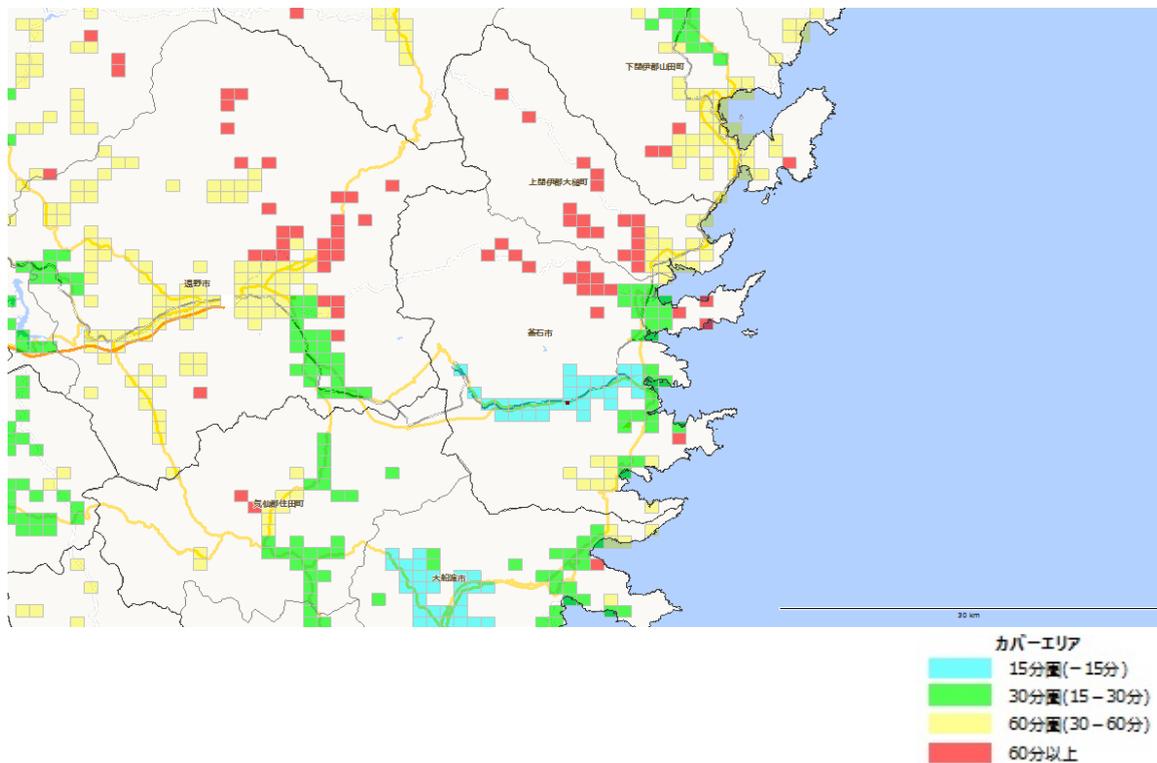
(釜石医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表3-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-6-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

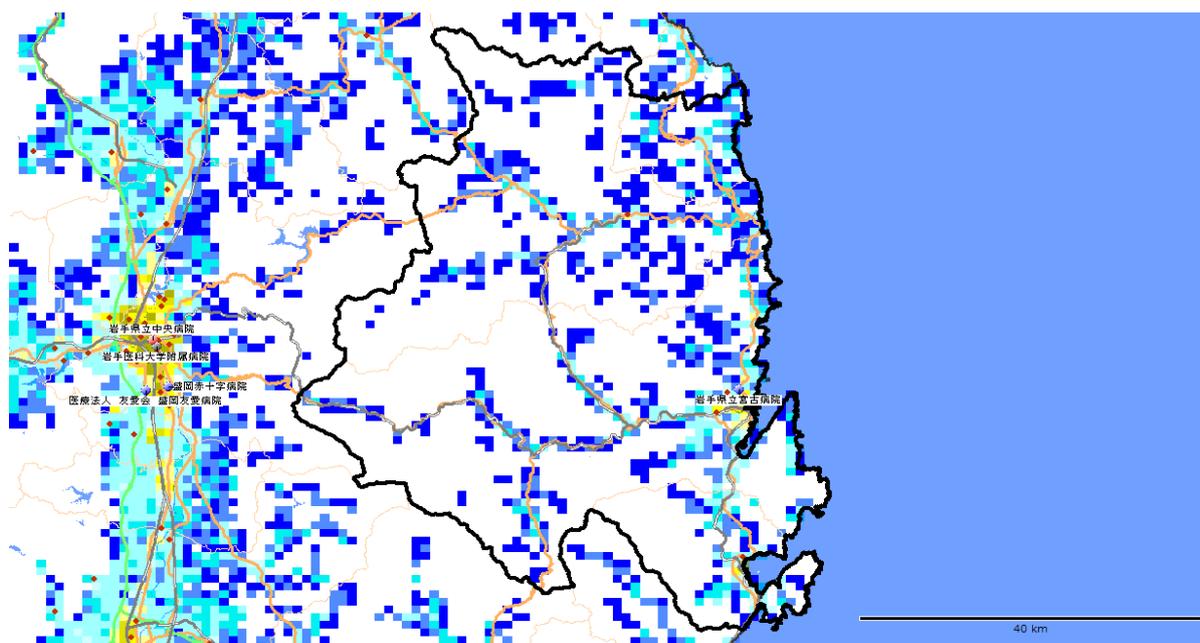


3-7. みやこ 宮古医療圏

構成市区町村 [宮古市](#) [山田町](#) [岩泉町](#) [田野畑村](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(宮古医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 宮古(宮古市)は、総人口約86千人(2015年)、面積2,671km²、人口密度は32人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 宮古の総人口は2025年に73千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に54千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の16千人が、2025年にかけて17千人へと増加し(2015年比+6%)、2040年には15千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 宮古の一人当たり医療費(国保)は382千円(偏差値58)、介護給付費は286千円(偏差値60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 宮古の一人当たり急性期医療密度指数は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は1.04で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が35(病院医師数36、診療所医師数35)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。宮古には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値56と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は69で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は36で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 宮古の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,215人(75歳以上1,000人当たりの偏差値33)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が978床(偏差値49)、高齢者住宅等が237床(偏差値32)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,384人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム50、サ高住31である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、149人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-21%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(宮古医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

宮古医療圏の総人口は、2005年99,885人が、2015年に85,809人と14%減少し、2025年の人口が73,042人と予測され、2005年→2025年の間に27%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

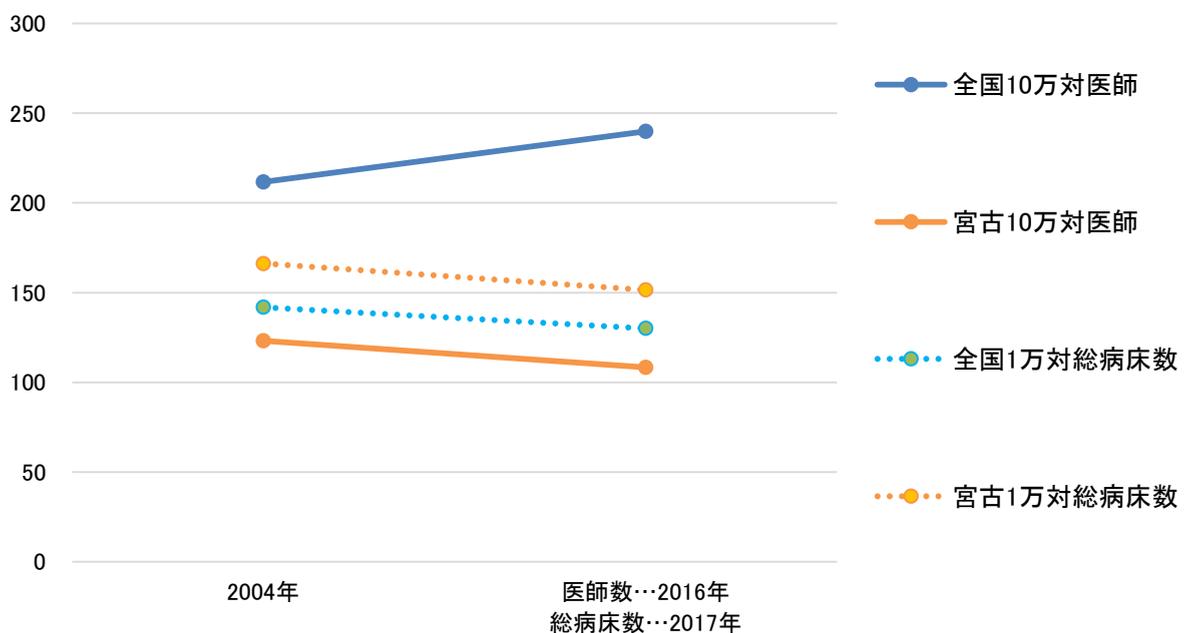
2004年の病院数が7(人口10万人当たり7病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2017年に6(人口10万人当たり6病院(全国平均6.6)偏差値51)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が54(人口10万人当たり54診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2017年に46(人口10万人当たり46診療所(全国平均80)偏差値36)と、8診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,660床(人口1万人当たり166(全国平均142)偏差値54)であったが、2017年に1,300床(人口1万人当たり130(全国平均130)偏差値54)と、360床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

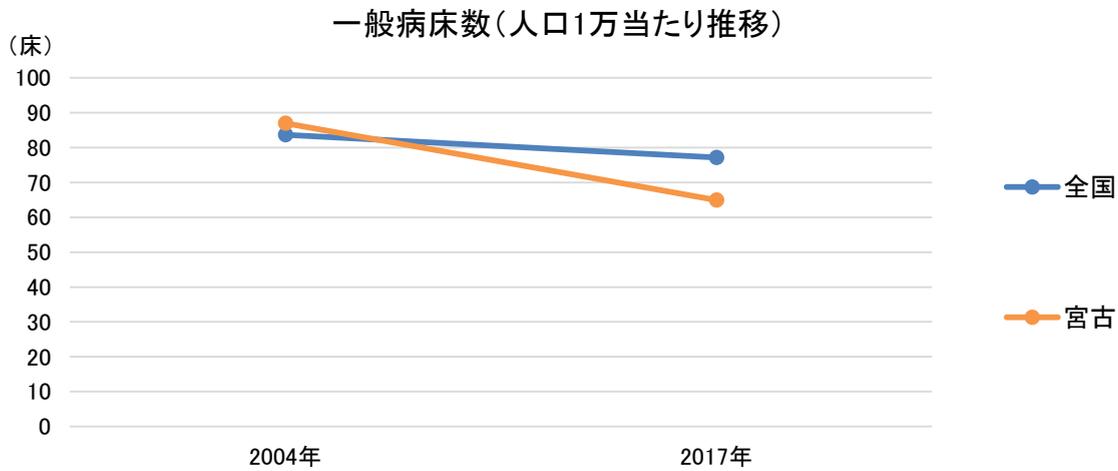
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が123人(人口10万人当たり12.3人(全国平均21.2人)偏差値39)であったが、2016年に93人(人口10万人当たり9.3人(全国平均24.0人)偏差値35)と、30人の減少、率にして24%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



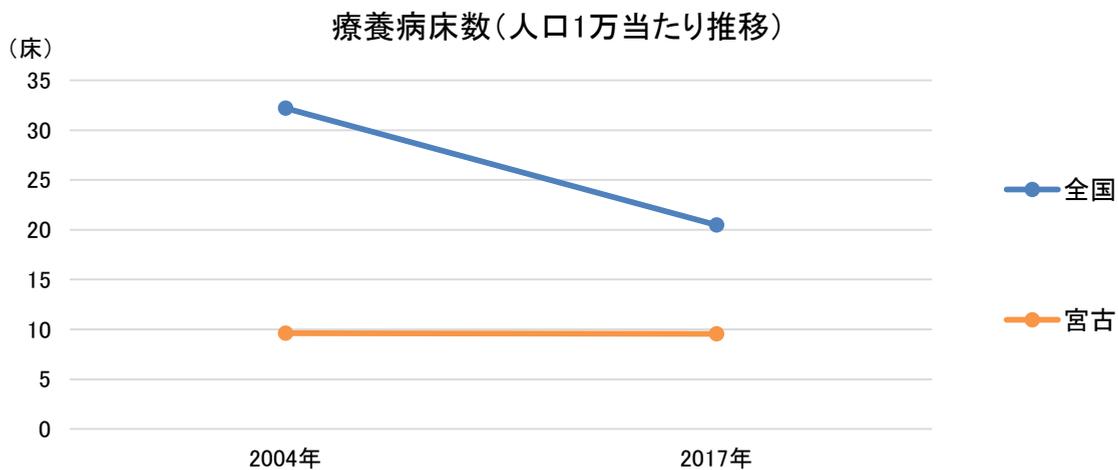
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が869床(人口1万人当たり87(全国平均84)偏差値51)であったが、2017年に557床(人口1万人当たり65(全国平均77)偏差値45)と、312床の減少、率にして36%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



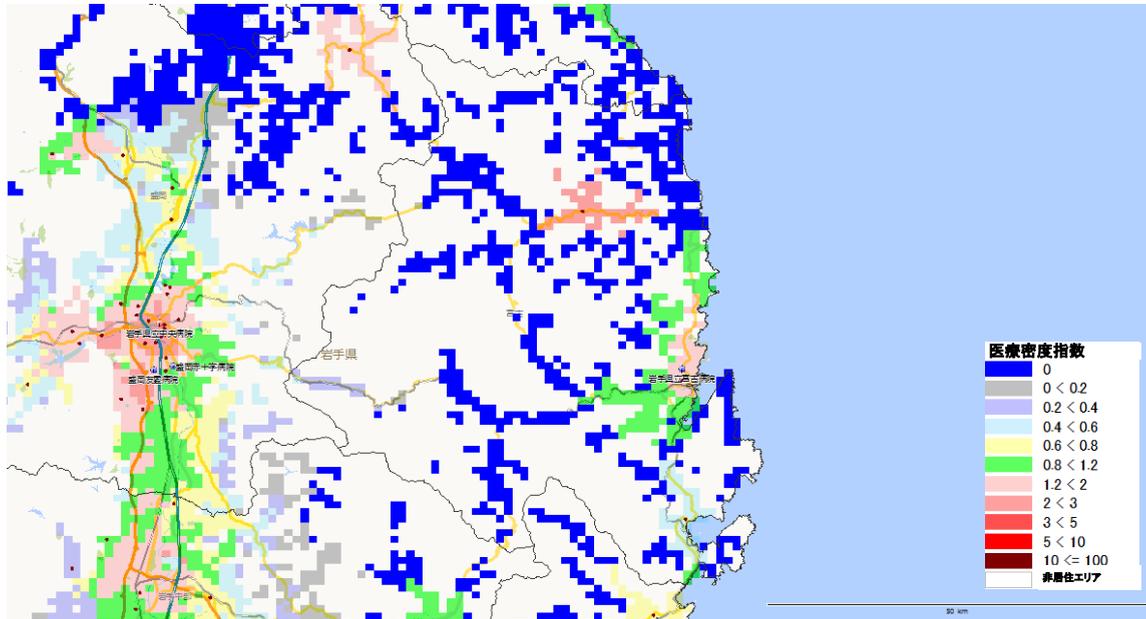
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が127床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均32)偏差値37)であったが、2017年に154床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値40)と、27床の増加、率にして21%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



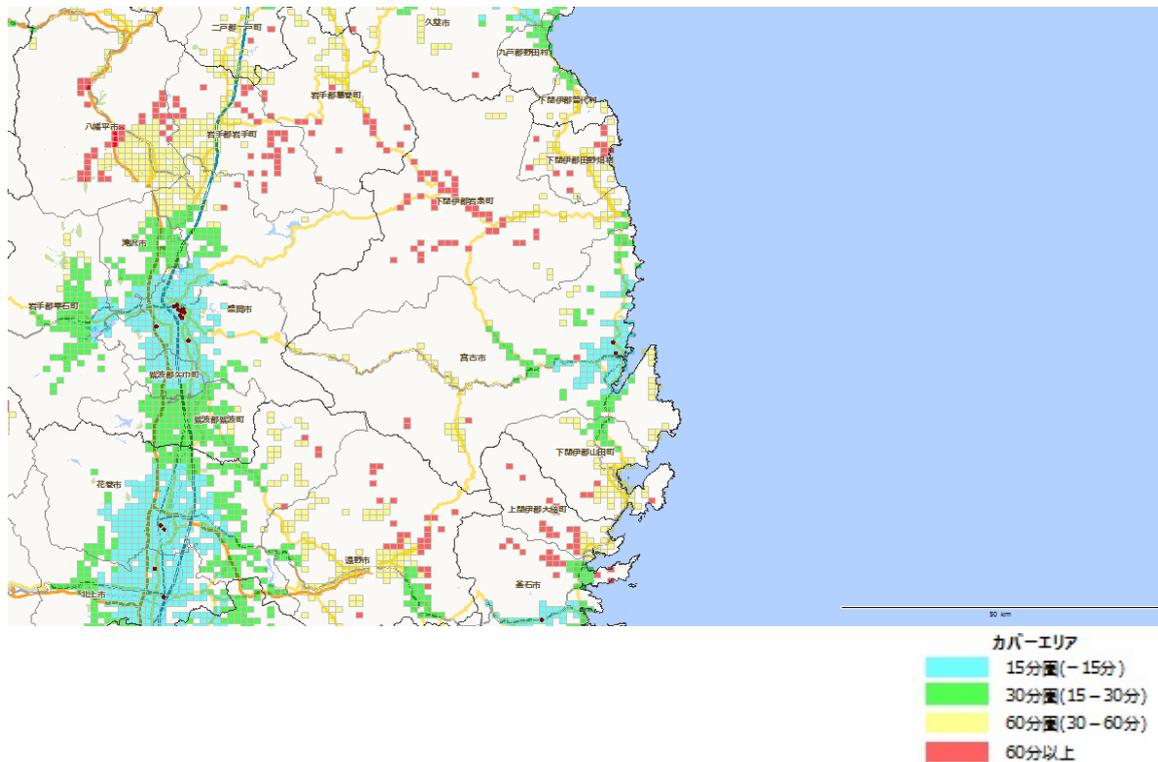
(宮古医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表3-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-7-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

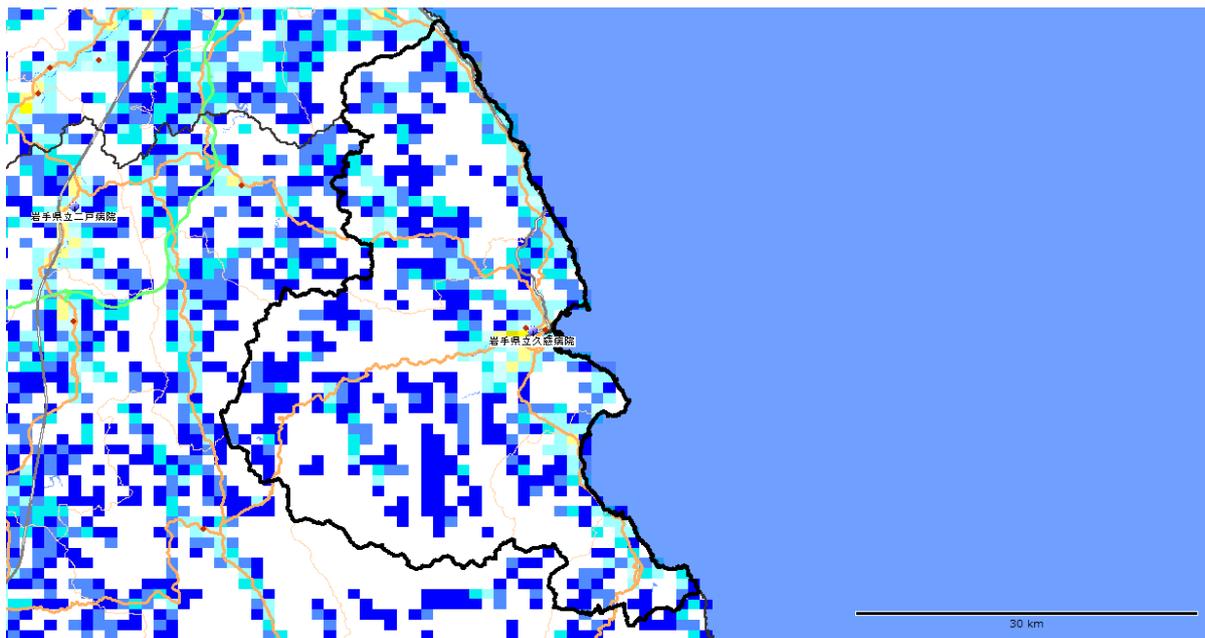


3-8. くじ 久慈医療圏

構成市区町村 [久慈市](#) [普代村](#) [野田村](#) [洋野町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
 Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ



(久慈医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：**久慈(久慈市)は、総人口約59千人(2015年)、面積1,077km²、人口密度は55人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：**久慈の総人口は2025年に52千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に40千人へと減少する(2025年比-23%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の10千人が、2025年にかけて11千人へと増加し(2015年比+10%)、2040年には12千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：**久慈の一人当たり医療費(国保)は329千円(偏差値46)、介護給付費は269千円(偏差値55)であり、医療費はやや低いが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：**久慈の一人当たり急性期医療密度指数は0.58、一人当たり慢性期医療密度指数は0.41で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

***医師・看護師の現状：**総医師数の偏差値が38(病院医師数42、診療所医師数31)と、総医師数、病院医師数はともに少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

***一般病床等の現状：**人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。久慈には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：**人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

***リハビリの現状：**総療法士数は偏差値39と少なく、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：**人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：**人口当たりの診療所数の偏差値は36で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：**久慈の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,061人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が880床(偏差値68)、高齢者住宅等が181床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、890人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設78、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設45、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム48、サ高住39である。

***在宅ケアの現状：**在宅療養支援診療所は偏差値32と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値23と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、63人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2025年の需要予測：**2025年の介護充足度指数は+9%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(久慈医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

久慈医療圏の総人口は、2005年67,042人が、2015年に59,279人と12%減少し、2025年の人口が51,654人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

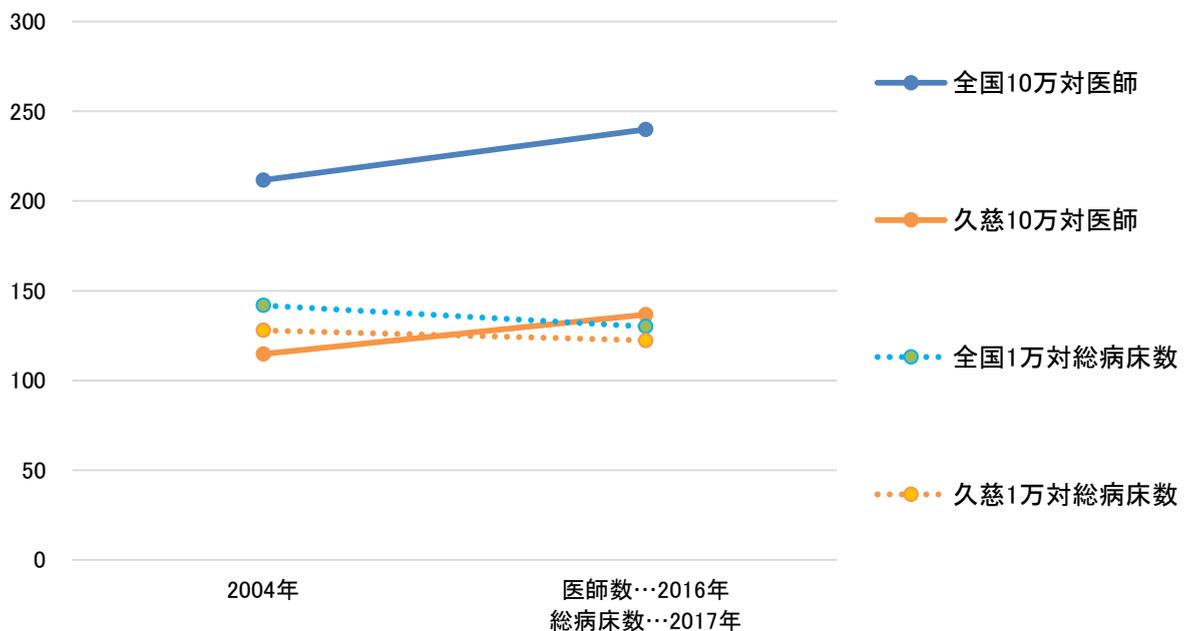
2004年の病院数が4(人口10万人当たり6病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2017年に4(人口10万人当たり6.7病院(全国平均6.6)偏差値50)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が29(人口10万人当たり43診療所(全国平均76)偏差値34)であったが、2017年に32(人口10万人当たり54診療所(全国平均80)偏差値36)と、3診療所が増加した。

2004年の総病床数が858床(人口1万人当たり128(全国平均142)偏差値48)であったが、2017年に725床(人口1万人当たり122(全国平均130)偏差値49)と、133床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が77人(人口10万人当たり115人(全国平均212人)偏差値38)であったが、2016年に81人(人口10万人当たり137人(全国平均240人)偏差値38)と、4人の増加、率にして5%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

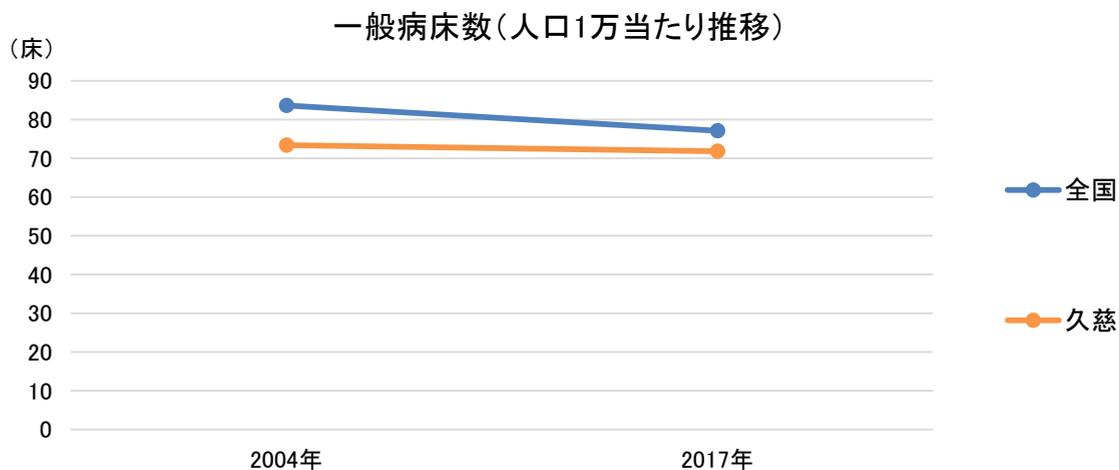
人口当たり医師数・総病床数の推移



3.岩手県(2018年版)

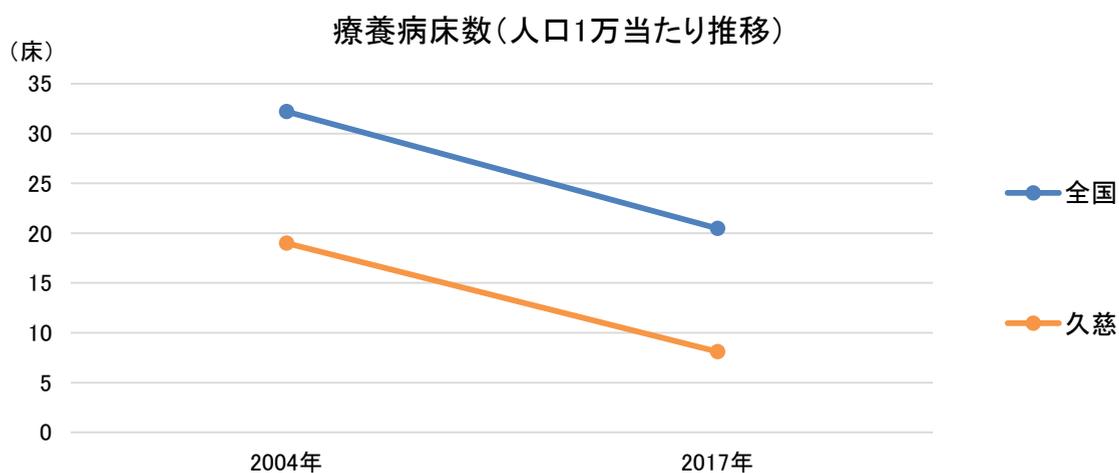
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が492床(人口1万人当たり73(全国平均84)偏差値46)であったが、2017年に426床(人口1万人当たり72(全国平均77)偏差値48)と、66床の減少、率にして13%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



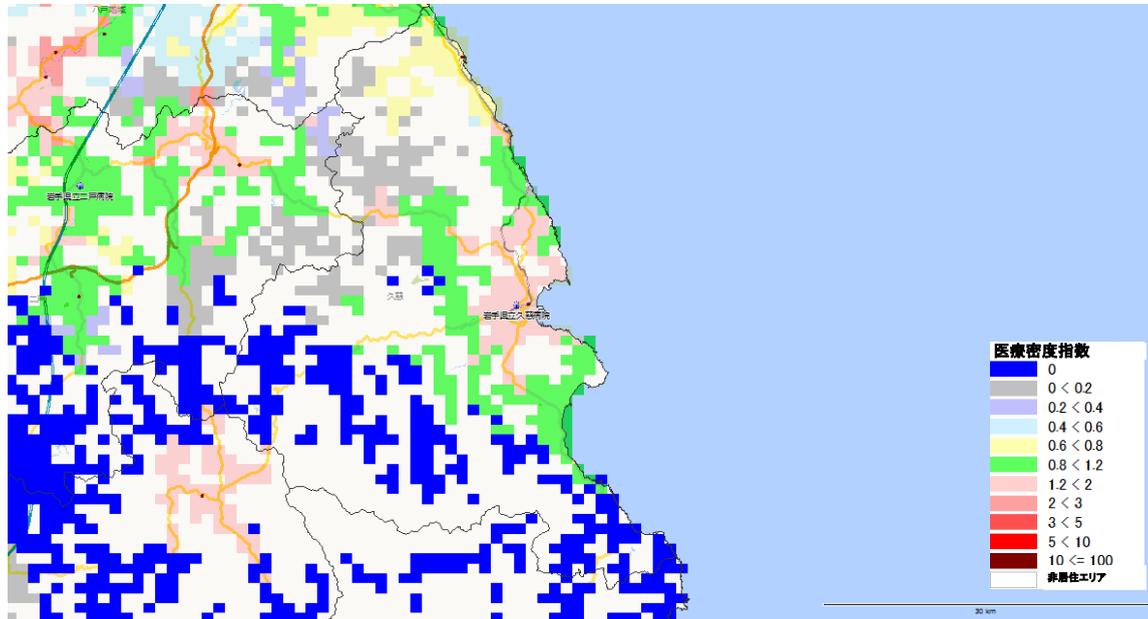
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が147床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均32)偏差値43)であったが、2017年に85床(75歳以上1,000人当たり8(全国平均20)偏差値39)と、62床の減少、率にして42%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



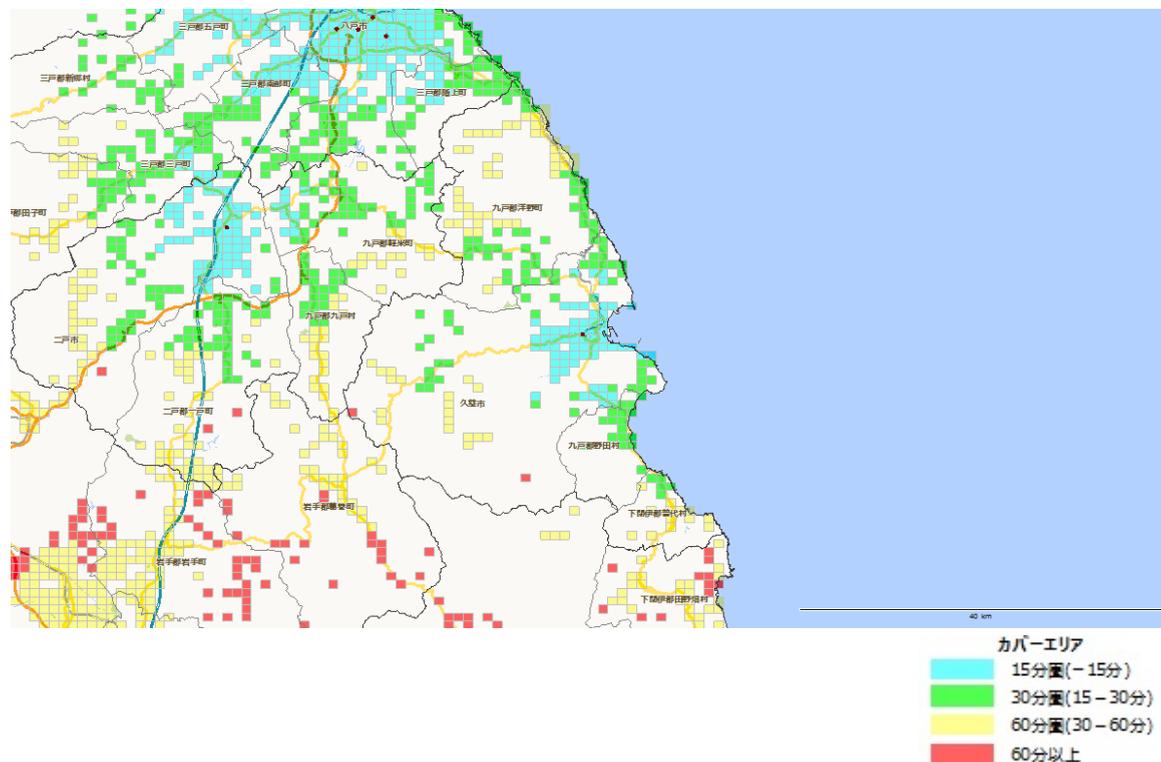
(久慈医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表3-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-8-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

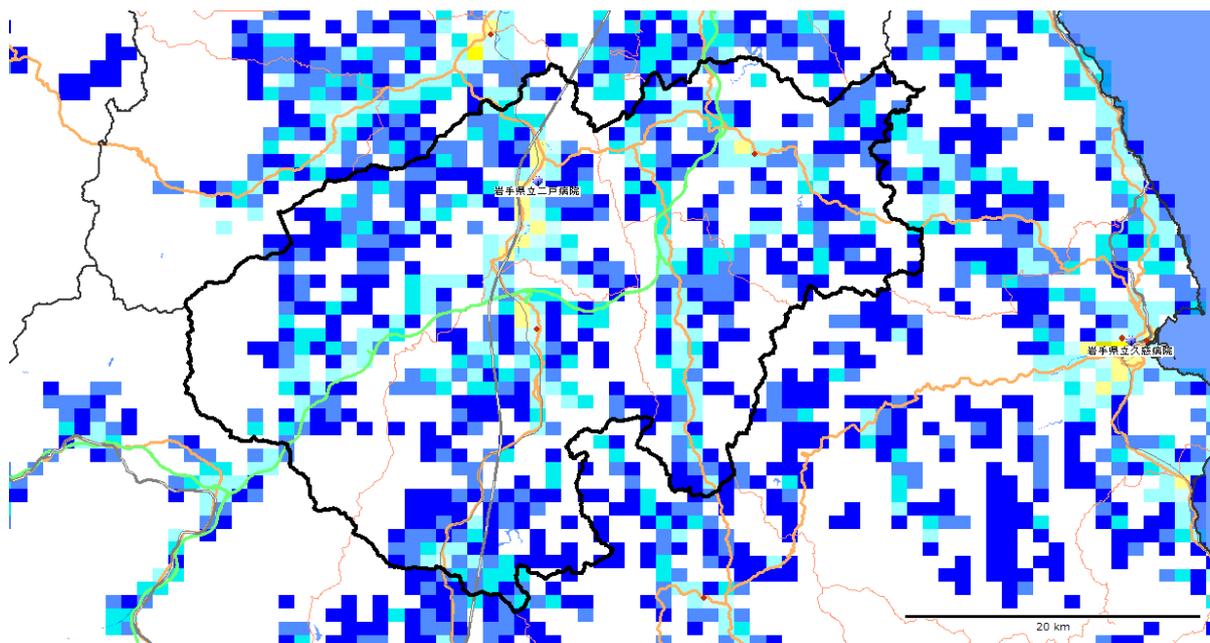


3-9. に の へ 二戸医療圏

構成市区町村 [二戸市](#) [軽米町](#) [九戸村](#) [二戸町](#)

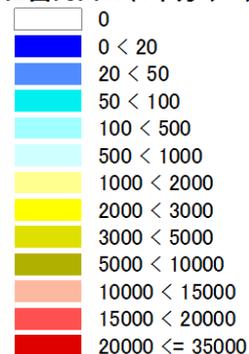
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(二戸医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 二戸(二戸市)は、総人口約56千人(2015年)、面積1,100km²、人口密度は51人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 二戸の総人口は2025年に46千人へと減少し(2015年比-18%)、2040年に33千人へと減少する(2025年比-28%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて11千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には10千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 二戸の一人当たり医療費(国保)は333千円(偏差値47)、介護給付費は304千円(偏差値65)であり、医療費はやや低いが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 二戸の一人当たり急性期医療密度指数は0.94、一人当たり慢性期医療密度指数は0.39で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が38(病院医師数41、診療所医師数35)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。二戸には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値36と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 二戸の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,011人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が862床(偏差値62)、高齢者住宅等が149床(偏差値31)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、877人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム65、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム37、軽費ホーム73、グループホーム40、サ高住なし(偏差値30)である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院も存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値27と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、95人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+8%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(二戸医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

二戸医療圏の総人口は、2005年64,997人が、2015年に55,728人と14%減少し、2025年の人口が46,104人と予測され、2005年→2025年の間に29%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて9%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

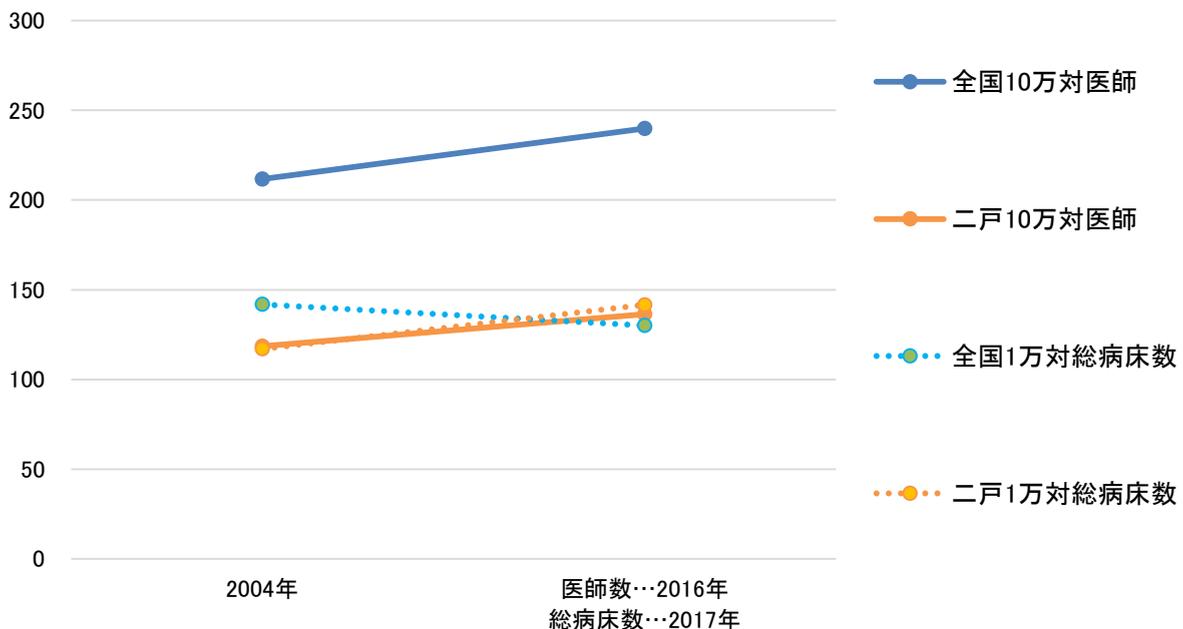
2004年の病院数が4(人口10万人当たり6.2病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2017年に3(人口10万人当たり5.4病院(全国平均6.6)偏差値47)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が30(人口10万人当たり46診療所(全国平均76)偏差値35)であったが、2017年に33(人口10万人当たり59診療所(全国平均80)偏差値39)と、3診療所が増加した。

2004年の総病床数が761床(人口1万人当たり117(全国平均142)偏差値46)であったが、2017年に789床(人口1万人当たり142(全国平均130)偏差値52)と、28床の増加、率にして4%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

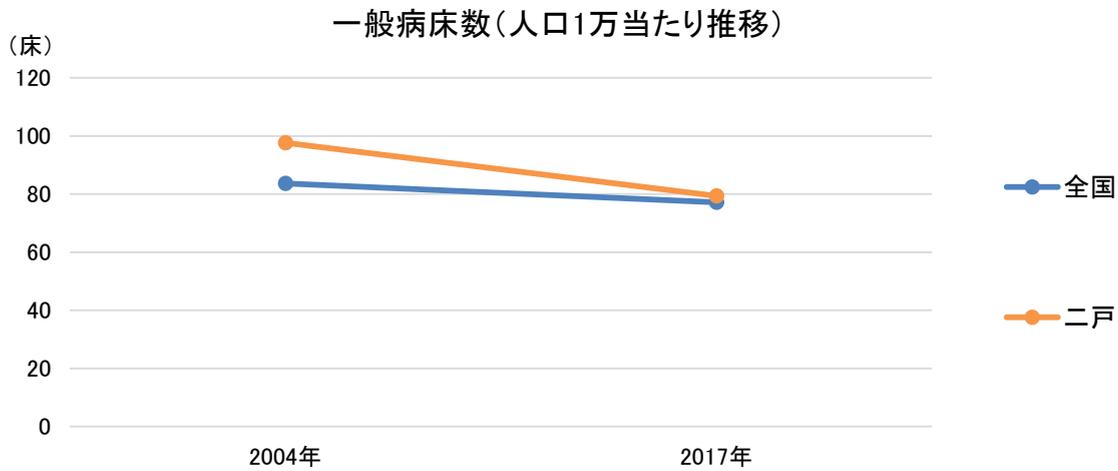
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が77人(人口10万人当たり118人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2016年に76人(人口10万人当たり136人(全国平均240人)偏差値38)と、1人の減少、率にして1%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



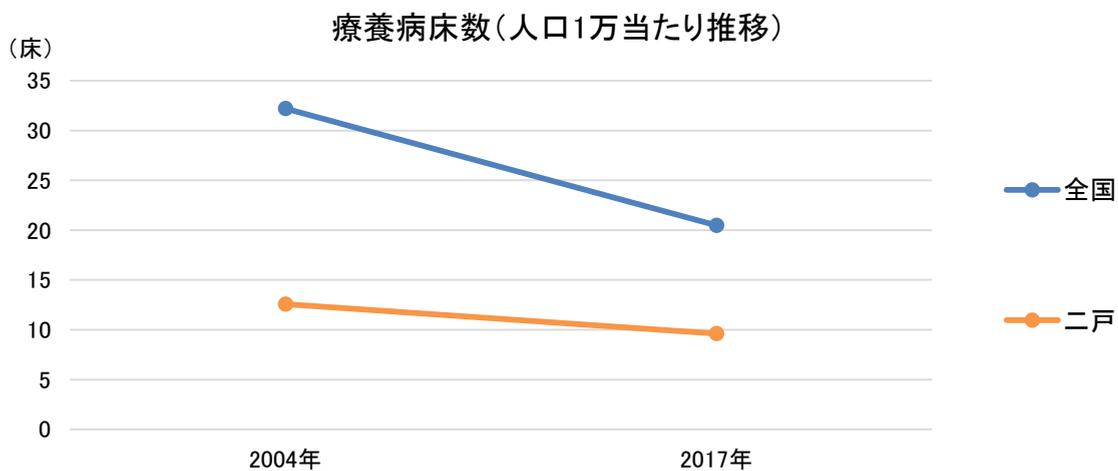
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が635床(人口1万人当たり98(全国平均84)偏差値55)であったが、2017年に442床(人口1万人当たり79(全国平均77)偏差値51)と、193床の減少、率にして30%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



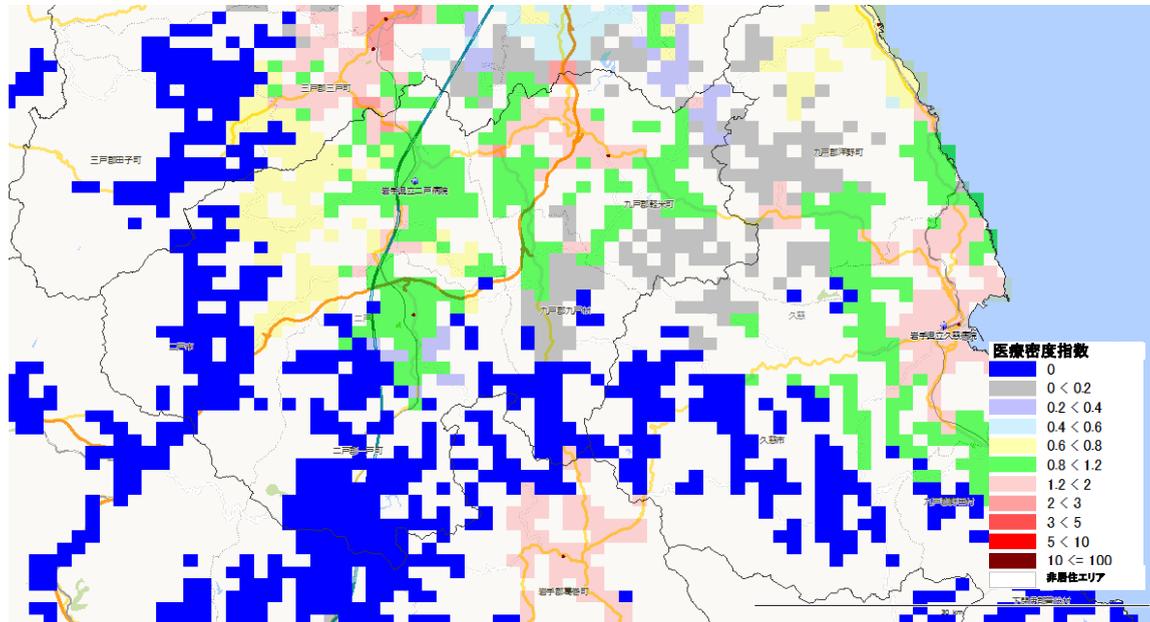
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が116床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2017年に108床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値40)と、8床の減少、率にして7%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



(二戸医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表3-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-9-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

